取扱説明書

統合管理ソフト・パワソル Power-SOL

UPS ステーション for Windows
【操作編
（UPS ステーションエクスプローラ編）】

富士電機システムズ株式会社

DO089-04-03A

安全にお使いいただくために

●製品を使用する前に、必ずこのマニュアルをお読みください。
●注意事項を守って製品をご使用ください。
●このマニュアルは、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に保管してください。

表記について

本書では、本ソフトウェアを安全に正しくお使いいただき、お客様への危害や財産への損害を未然に防止するために、次の絵表示を使用しています。**これらの絵表示の個所は必ずお読みください。**

●安全性に関する事項

危険	指示を守らないと、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されることを示します。
警告	指示を守らないと、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示します。
注意	指示を守らないと、人が傷害を負う可能性または物的被害のみが想定されることを示します。

●安全のために

注意事項	安全のために、その行為を強制することを示しています。

2010 年 7 月　第 13 版

(1)本ソフトウェアおよび、本書の内容の一部または全部を弊社に無断で転載、複製、改変する事は禁止されています。
(2)本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。
(3)本ソフトウェアを使用した事によってシステムや機器に万一トラブルや故障が発生しても、弊社は原因の如何に関わらず一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
(4)本ソフトウェアの仕様および本書に記載されている事柄は、将来予告無しに変更する事があります。
(5)商品の内容については万全を期していますが、ご不審の点や誤り、本書の記載漏れなどお気づきの点がありましたら、弊社までご連絡ください。

Copyright(C) Fuji Electric Systems Co.,Ltd. All Rights Reserved.

操作編（UPS ステーションエクスプローラ編）

目次

操作編 1
UPS ステーションの概要 1
UPS ステーションモニタの基本操作 2
UPS ステーションエクスプローラ自動起動の設定 3
計測サンプリング間隔の設定 4
バージョン情報 5
UPS ステーションエクスプローラの起動 6
UPS ステーションエクスプローラの基本操作 8
キー入力によるフォーカス移動 9
モード 10
ツリー表示 10
表示モード 13
設定モード 47
イベント発生時の確認ダイアログ 92
バージョン情報 94

操作編

UPS ステーションの概要

■「UPS ステーション」とは、単独で動作している中・大型 3 相 UPS（無停電電源装置）（以下 UPS（単機）と称する）と並列冗長で動作している中・大型 3 相 UPS（以下 UPS（並列）と称する）及び関連装置（以下保守バイパス盤／入出力盤と称する）の状態監視を行うとともに、複数の UPS ドメインを常時一元管理することができるソフトウェアです。

■中・大型 3 相 UPS 及び関連装置に Network Agent Card を使用することにより、UPS ステーションでは、最大 16 台までの中・大型 3 相 UPS 及び関連装置を監視することができます。

■UPS ステーションは、UPS ドメインと組み合わせてネットワークに接続されているコンピュータに使用すると、ネットワーク上にある UPS ドメインがインストールされているコンピュータを介して他の小型単相 UPS の状態の一元監視を行うことが可能です。

■中・大型 3 相 UPS 及び関連装置の警報、注意等のイベントが発生した場合に、コマンド実行、管理者への電子メール送信をする事が可能です。

■UPS ステーションは、UPS ステーションモニタと UPS ステーションエクスプローラで構成されます。

■UPS ステーションモニタは、バックグラウンドで中・大型 3 相 UPS 及び関連装置と通信して UPS ステーションエクスプローラに各種情報を提供します。また、中・大型 3 相 UPS 及び関連装置の状態を監視し、状態変化時に UPS ステーションエクスプローラを自動起動することが可能です。

■UPS ステーションエクスプローラは表示、設定の 2 つのモードで構成されます。それぞれのモードによって表示内容は異なります。

■UPS ドメイン配下の Network Agent Card に対する管理情報表示、チャート表示、バーグラフ表示、イベントマップ以外の機能については、Network Agent Card 選択時の各タブを選択したときに表示される「Network Agent Card ユーザーズガイド」ボタン選択しユーザーズガイドを確認してください。又、「Network Agent Card への接続」ボタンを選択することにより、Network Agent Card に Telnet 接続が行えます。

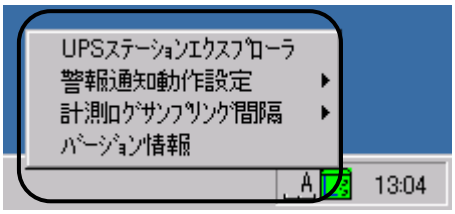
注意事項

※UPS ステーションエクスプローラで各種設定を変更した場合には、再インストールや再起動する必要はありません。

UPS ステーションモニタの基本操作

ＯＳを起動すると、タスクトレイに UPS ステーションモニタアイコン が表示されます。

UPS ステーションモニタアイコンを右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。



［ポップアップメニュー］

【機能】

■UPS ステーションモニタは、常にバックグラウンドで動いています。

■中・大型 3 相 UPS 及び関連装置の動作状態が変化すると、UPS ステーションモニタの設定に従い動作します。

【操作】

機能名称	動作概要	ショートカットキー
UPS ステーション エクスプローラ	UPS ステーションエクスプローラを起動します。	無し
警報通知動作設定	中・大型 3 相 UPS 及び関連装置の状態変化時に UPS ステーションエクスプローラを起動有無を設定することが可能です。	無し
計測ログサンプリング間隔	中・大型 3 相 UPS 及び関連装置の計測情報を取得する間隔を設定することが可能です。	無し
バージョン情報	UPS ステーションモニタのバージョン情報画面を表示します。	無し

【説明】

■UPS ステーションエクスプローラ自動起動を「UPS ステーションエクスプローラを自動起動する」に設定すると、中・大型 3 相 UPS 及び関連装置の状態変化時に UPS ステーションエクスプローラが自動起動されるようになります。

■初期起動時は自動起動「UPS ステーションエクスプローラを自動起動する」に設定されています。

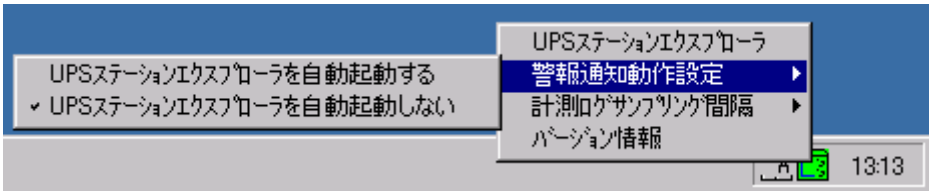
■ポップアップメニュー上に現在選択されている方をチェックマーク表示します。

■キーボードによる UPS ステーションモニタの操作

1．Ｗｉｎｄｏｗｓロゴキー（Ctrl＋ESC）を押しスタートメニューを出します。
2．ＥＳＣキーを押してキャンセルし、「スタート」ボタンにフォーカスが移っていることを確認します。
3．UPS ステーションモニタアイコンのある「タスクトレイ」にフォーカスが移るまでＴａｂキーを押します。
4．矢印キーで UPS ステーションモニタアイコンにフォーカスを移動します。
5．アプリケーションキー（Shift＋F10）を押すとポップアップメニューが表示されます。
6．矢印キーを使って項目移動し、リターンキーで選択位置の項目を実行します。

UPS ステーションエクスプローラ自動起動の設定

ポップアップメニューから、警報通知動作設定を選択し、希望の動作を選択します。



［ポップアップメニューの警報通知動作設定］

【機能】

■中・大型 3 相 UPS 及び関連装置の状態変化時に UPS ステーションエクスプローラを自動起動する／しないの設定をします。

【操作】

ポップアップメニュー

機能名称	動作概要
UPS ステーションエクスプローラを自動起動する	中・大型 3 相 UPS 及び関連装置の状態変化時に UPS ステーションエクスプローラを自動起動させる場合に選択します。
UPS ステーションエクスプローラを自動起動しない	中・大型 3 相 UPS 及び関連装置の状態変化時に UPS ステーションエクスプローラを自動起動させない場合に選択します。

【説明】

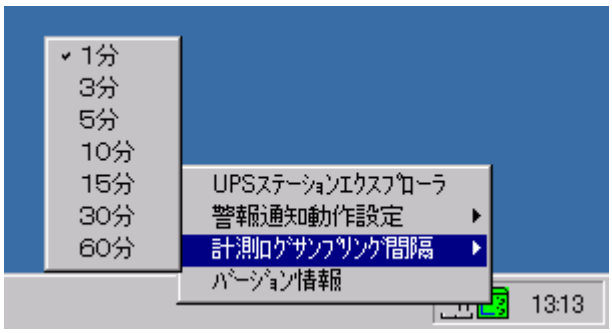
■UPS ステーションエクスプローラ自動起動を「UPS ステーションエクスプローラを自動起動する」に設定すると、中・大型 3 相 UPS 及び関連装置の状態変化時に UPS ステーションエクスプローラが自動起動されるようになります。

■初期起動時は自動起動「UPS ステーションエクスプローラを自動起動する」に設定されています。

■ポップアップメニュー上に現在選択されている方をチェックマーク表示します。

計測サンプリング間隔の設定

ポップアップメニューから、計測ログサンプリング間隔設定を選択し、希望のサンプリング間隔を選択します。



［ポップアップメニューの計測ログサンプリング間隔］

【機能】

■中・大型 3 相 UPS 及び関連装置を計測するサンプリング間隔を設定します。

【操作】

ポップアップメニュー

機能名称	動作概要
１分	中・大型 3 相 UPS 及び関連装置の計測値を１分間隔でサンプリングします。
３分	中・大型 3 相 UPS 及び関連装置の計測値を３分間隔でサンプリングします。
５分	中・大型 3 相 UPS 及び関連装置の計測値を５分間隔でサンプリングします。
１０分	中・大型 3 相 UPS 及び関連装置の計測値を１０分間隔でサンプリングします。
１５分	中・大型 3 相 UPS 及び関連装置の計測値を１５分間隔でサンプリングします。
３０分	中・大型 3 相 UPS 及び関連装置の計測値を３０分間隔でサンプリングします。
６０分	中・大型 3 相 UPS 及び関連装置の計測値を６０分間隔でサンプリングします。

【説明】

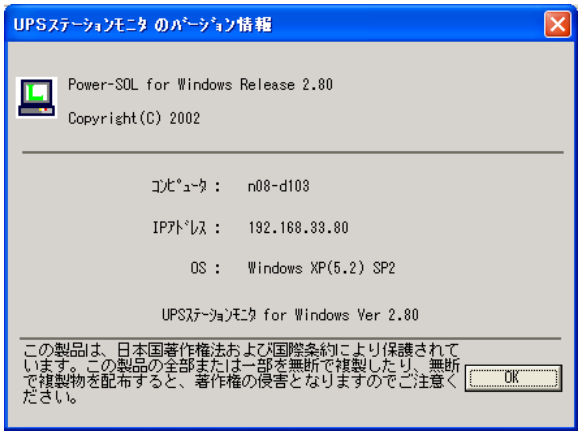
■中・大型 3 相 UPS 及び関連装置の計測値を保存する計測ログファイルの更新間隔を設定することができます。

■初期起動時は計測サンプリング間隔「１分」に設定されています。

■ポップアップメニュー上に現在選択されている内容をチェックマーク表示します。

バージョン情報

ポップアップメニューから、「バージョン情報」を選択すると表示されます。



［バージョン情報］

【機能】

■UPS ステーションモニタのバージョン情報を表示します。

【表示】

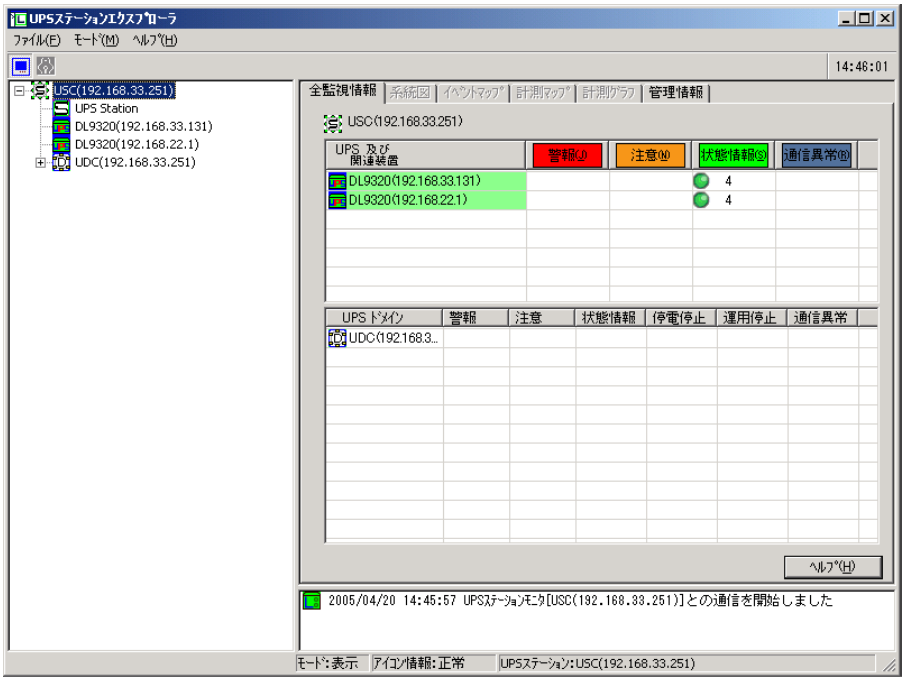
表示名称	表示内容
Power-SOL for Windows Release X.X	Ｐｏｗｅｒ－ＳＯＬのバージョンを表示します。
コンピュータ	ご使用のコンピュータ名を表示します。
ＩＰアドレス	ご使用のコンピュータのＩＰアドレスを表示します。
ＯＳ名	ご使用のＯＳ名及びそのバージョンを表示します。
UPS ステーションモニタ for Windows Ver X.XX	ご使用の UPS ステーションモニタのバージョンを表示します。

【説明】

■使用中の UPS ステーションモニタのバージョン情報及びコンピュータの情報を表示します。

UPS ステーションエクスプローラの起動

タスクトレイ上の UPS ステーションモニタアイコンを右クリックし、表示されるメニューから「UPS ステーションエクスプローラ」を選択すると、UPS ステーションエクスプローラ画面が表示されます。



[UPS ステーションエクスプローラ画面例]

【機能】

■UPS ステーションエクスプローラ画面では、次の事ができます。

・UPS ステーション内の各機器の状態情報の表示

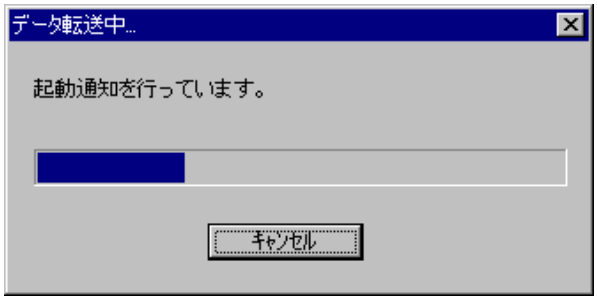
・UPS ステーション内の各機器の各種設定

【メニューバーの操作】

機能名称	動作概要	ショートカットキー
ファイル	―	Alt + F
モニタ再接続	UPS ステーションモニタと再接続します。	[Alt + F]押下後に C
アクセスコード入力	アクセスコードの入力画面を表示します。	[Alt + F]押下後に A
プロパティ	プロパティ画面を表示します。	[Alt + F]押下後に P
アプリケーションの終了	UPS ステーションエクスプローラを終了します。	[Alt + F]押下後に X
モード	―	Alt + M
表示	UPS ステーションエクスプローラ画面を表示モードにします。(ボタン)	[Alt + M]押下後に D
設定	UPS ステーションエクスプローラ画面を設定モードにします。(ボタン)	[Alt + M]押下後に S
ヘルプ	―	Alt + H
ヘルプ	UPS ステーションエクスプローラのヘルプ画面を表示します。	[Alt + H]押下後に H
UPS ステーションエクスプローラのバージョン情報	UPS ステーションのバージョン情報画面を表示します。	[Alt + H]押下後に A

【説明】

■UPS ステーションエクスプローラを起動すると UPS ステーションモニタと通信を開始し、UPS ステーションエクスプローラ上で表示する各種情報の取得を行います。



［データ転送中ダイアログ］

各種情報の取得が終了するとデータ転送中ダイアログが自動で消え、表示モードのみ表示可能となります。

■設定モード画面を表示可能にするには、「ファイル」メニューの「アクセスコード入力」を選択してください。アクセスコード入力画面が表示されます。

［アクセスコード入力画面］

アクセスコードを入力し「ＯＫ」ボタンを選択すると、ツールバーの設定モードが有効になり、設定モード画面が操作可能になります。

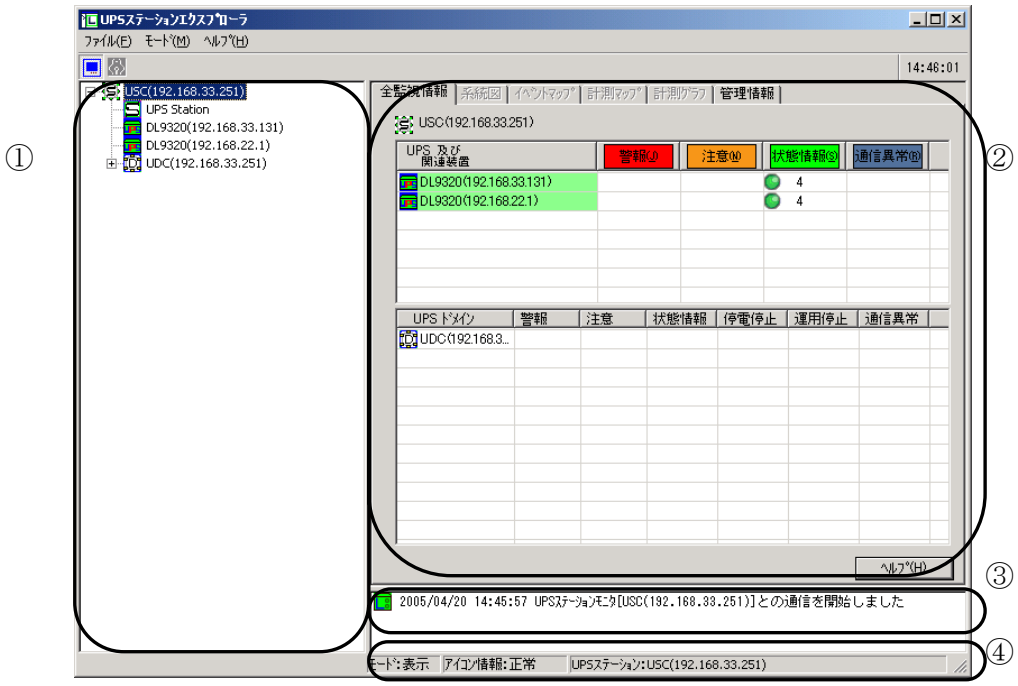
アクセスコードが間違っていたり、キャンセルなど未入力の場合、設定モードは使用できません。

注意事項

※UPS ステーションエクスプローラ画面が最新の情報に更新されない場合は、「ファイル」メニューの「モニタ再接続」を選択してください。UPS ステーションエクスプローラの再起動をする必要はありません。

※アクセスコードは UPS ステーションのインストール時に設定したものです。アクセスコードを変更する場合は、設定モードの「セキュリティ」メニューで変更してください。詳しくは、『**セキュリティ**』の項を参照してください。

UPS ステーションエクスプローラの基本操作



［UPS ステーションエクスプローラ画面例］

UPS ステーションエクスプローラ画面は以下のウィンドウで構成されています。

・ツリー表示フレーム（画面①部分）

現在の UPS ステーション構成情報をツリー形式で表示します。

・タブ表示フレーム（画面②部分）

UPS ステーションエクスプローラのメイン画面です。モードやタブメニューの選択によって表示内容が変わります。

・メッセージ表示フレーム（画面③部分）

UPS ステーション内の中・大型 3 相 UPS 及び関連装置、小型単相 UPS の状態等のメッセージが表示されます。

・ステータスバー（画面④部分）

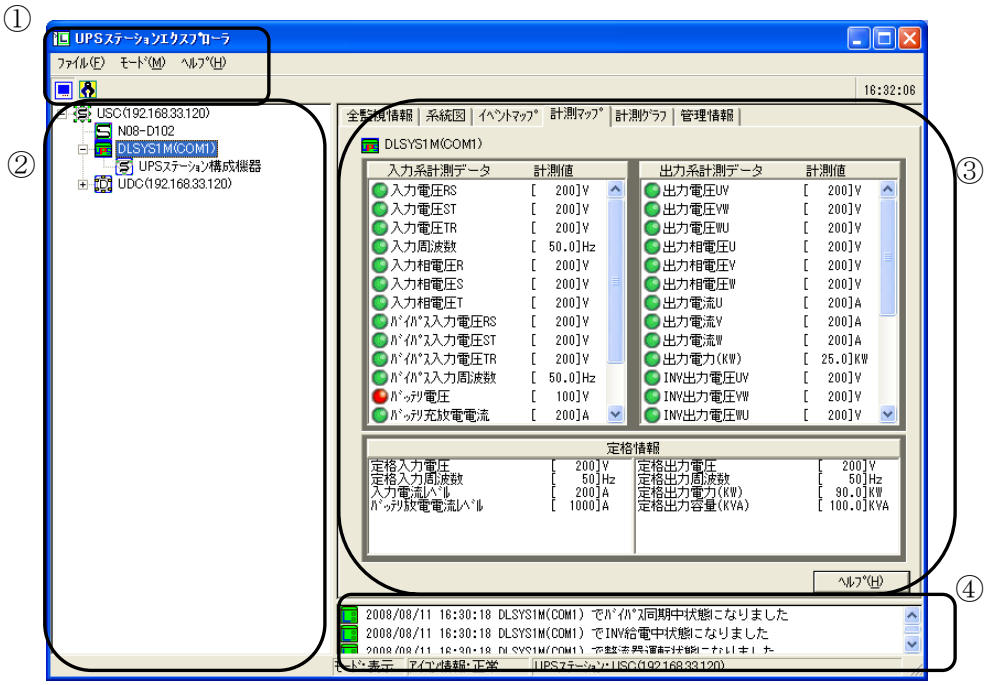
現在選択されているモード名やアイコン情報を表示します。

【ステータスバー（画面④部分）】

表示名称	表示内容
モード	現在選択されているモードを表示します。
アイコン情報	現在選択中のアイコンの警報状態が表示されます。
UPS ステーション	UPS ステーション名を表示します。

キー入力によるフォーカス移動

■UPS ステーションエクスプローラはキー入力操作によるフォーカス移動をサポートしています。



［UPS ステーションエクスプローラ画面例］

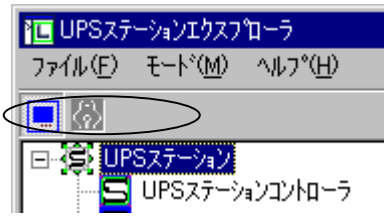
【操作】

表示部	ショートカットキー	操作概要
上図① メニューバー	Alt	フォーカス移動後、矢印キーを使って項目移動をします。 各操作キーについては、『「UPS ステーションエクスプローラの起動」の【メニューバーの操作】』の項を参照してください。
上図② ツリー表示フレーム	Ctrl + 1	フォーカス移動後、矢印キーを使って項目移動をします。
上図③ タブ表示フレーム	Ctrl + 2	フォーカス移動後、矢印キーを使ってタブ移動をします。 各タブ画面内へフォーカスを移動するには、目的のタブを選択した状態でＴａｂキーを押してください。 Ｔａｂキーを数回押す（タブ画面のボタン等、コントロール数により異なります）とタブへ戻ります。 タブ画面内各操作キーについては、『各タブ画面の【操作】』の項を参照してください。
上図④ メッセージ表示フレーム	Ctrl + 3	フォーカス移動後、矢印キーを使って行の移動をします。

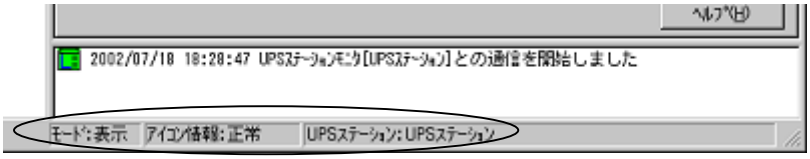
モード

■UPS ステーションエクスプローラは表示、設定の２つのモードで構成されています。それぞれのモードに沿って UPS ステーションエクスプローラ画面に表示される各タブメニューの内容が異なります。

■各モードの設定は、UPS ステーションエクスプローラ画面の「モード」メニューからそれぞれ選択するか、ツールバー上で選択します。現在選択されているモード名がステータスバーに表示されます。



［ツールバー］



［ステータスバー］

■管理情報や中・大型 3 相 UPS 及び関連装置、小型単相 UPS の状態を見る場合は「表示」モードを選択してください。

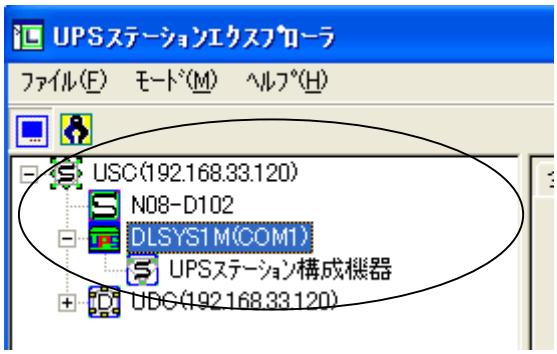
選択できるタブメニューは、全監視情報、系統図、イベントマップ、計測マップ、計測グラフ、管理情報、チャート、グラフ、電源ログ、計測ログです。

■構成管理の設定などを行う場合は、「設定」モードを選択してください。

設定モード画面を表示するには、アクセスコード入力が必要です。詳しくは『UPS ステーションエクスプローラの起動』の項を参照してください。選択できるタブメニューは構成管理、警告カスタマイズ、セキュリティです。

ツリー表示

■UPS ステーションエクスプローラのツリー表示フレームに UPS ステーションの構成がツリー表示されます。



［ツリー表示フレーム］

■ツリー表示にて表示されるアイコン

UPS ステーション	UPS ステーション コントローラ	UPS（単機）	UPS（並列）	保守バイパス盤 ／入出力盤
UPS ステーション 構成機器	UPS ドメイン	UPS ドメイン コントローラ	UPS グループ	小型単相 UPS
負荷セグメント （全体）	負荷セグメント （個別）	UPS モニタ （コントローラ）	UPS モニタ （メンバ）	コンピュータ
コンピュータ 周辺機器	ネットワーク 機器	Network Agent Card	電気機器	その他
Telnet Client				

中・大型 3 相 UPS 及び関連装置、小型単相 UPS 状態変化等のイベント発生時に、ツリー上のアイコン表示が変わります。

以下は、アイコン状態表示例です。

	正常	警報	注意	通信異常	運用停止	停電停止
ＵＰＳ ステーション						
ＵＰＳ（単機）						
ＵＰＳ（並列）						
保守バイパス盤／ 入出力盤						
ＵＰＳドメイン コントローラ						
Network Agent Card						
ＵＰＳグループ						
小型単相ＵＰＳ						
負荷セグメント （全体）		—	—	—		
負荷セグメント （個別）		—	—	—		

UPS ステーションエクスプローラの操作

表示モード

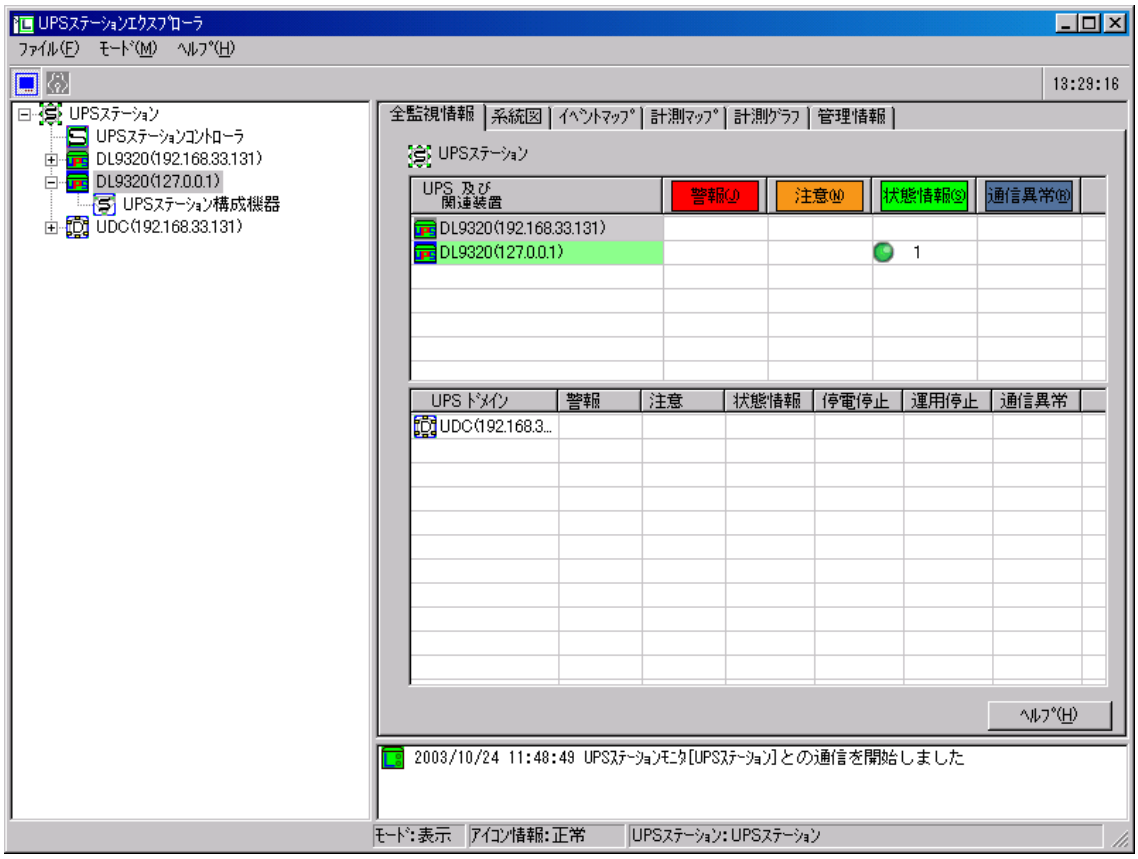
■UPS ステーションエクスプローラ画面の「モード」メニューから、「表示」を選択するか、ツールバー上の ボタンを選択すると表示モードになります。

■中・大型 3 相 UPS 及び関連装置、小型単相 UPS と接続しているコンピュータ、周辺機器の情報や中・大型 3 相 UPS 及び関連装置、小型単相 UPS の状態などを表示します。

表示モードにおける、各タブメニューの操作説明を以下に記述します。

全監視情報

UPS ステーションエクスプローラ画面が表示モードの状態で、「全監視情報」タブを選択すると表示されます。



「全監視情報画面例」

【機能】

■UPS ステーション構成内の中・大型 3 相 UPS 及び関連装置と、UPS ドメイン内の小型単相 UPS のイベント情報を表示します。

【操作】

機能名称	動作概要	ショートカットキー
中・大型 3 相 UPS 及び関連装置 警報ボタン	中・大型 3 相 UPS 及び関連装置で発生している警報イベント数を昇順／降順に並べ替え表示します。	Alt + J
中・大型 3 相 UPS 及び関連装置 注意ボタン	中・大型 3 相 UPS 及び関連装置で発生している注意イベント数を昇順／降順に並べ替え表示します。	Alt + N
中・大型 3 相 UPS 及び関連装置 状態情報ボタン	中・大型 3 相 UPS 及び関連装置で発生している状態情報数を昇順／降順に並べ替え表示します。	Alt + S
中・大型 3 相 UPS 及び関連装置 通信異常ボタン	中・大型 3 相 UPS 及び関連装置で発生している通信異常情報数を昇順／降順に並べ替え表示します。	Alt + R
小型単相 UPS 警報ボタン	小型単相 UPS で発生しているイベント数を昇順／降順に並べ替え表示します。	Alt + K
小型単相 UPS 注意ボタン	小型単相 UPS で発生している注意イベント数を昇順／降順に並べ替え表示します。	Alt + B
小型単相 UPS 状態情報ボタン	小型単相 UPS で発生している状態情報数を昇順／降順に並べ替え表示します。	Alt + A
小型単相 UPS 停電停止ボタン	小型単相 UPS で発生している停電停止数を昇順／降順に並べ替え表示します。	Alt + X
小型単相 UPS 運用停止ボタン	小型単相 UPS で発生している運用停止数を昇順／降順に並べ替え表示します。	Alt + Q
小型単相 UPS 通信異常ボタン	小型単相 UPS で発生している通信異常情報数を昇順／降順に並べ替え表示します。	Alt + W
ヘルプボタン	ヘルプ画面を表示します。	Alt + H
キー入力	各リストにフォーカス移動します。 リスト選択時は矢印キーを使って行の移動をします。	Tab

表示名称	表示内容
UPS 及び関連装置	中・大型 3 相 UPS 及び関連装置名称を表示します。
UPS ドメイン	UPS ドメイン名称を表示します。
内容	中・大型 3 相 UPS 及び関連装置で発生中の警報毎のアイコンと発生数、UPS ドメイン内の小型単相 UPS で発生中の警報毎のアイコンと発生数を表示します。

【説明】

■リスト内のアイコンの色は警報種別を表します。

警報・・・・赤色アイコン

注意・・・・黄赤色アイコン

状態情報・・緑色アイコン

停電停止・・黒色アイコン

運用停止・・灰色アイコン

通信異常・・灰青色アイコン

■各ボタンは該当イベントの発生数で、リスト全体の表示を昇順／降順で並び替える事が可能です。

■全監視情報が表示可能なアイコンは、以下のアイコンです。

・UPS ステーションアイコン

・UPS（単機）アイコン

・UPS（並列）アイコン

・保守バイパス盤／入出力盤アイコン

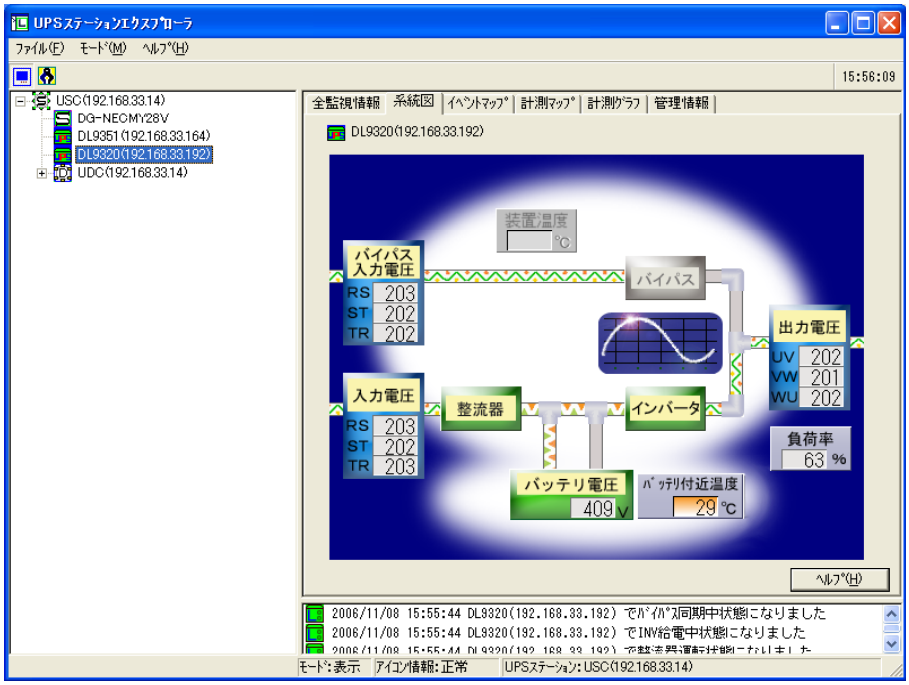
・UPS ステーション構成機器アイコン

注意事項

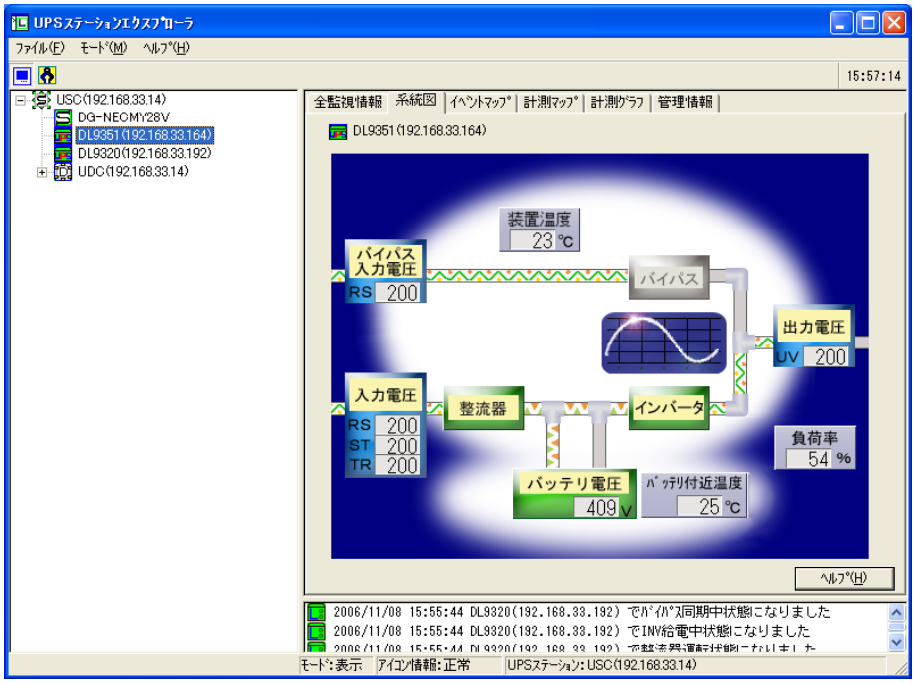
※現在発生しているイベントが無い場合には、アイコンと発生数は表示されません。

系統図

UPS ステーションエクスプローラ画面が表示モードの状態で、「系統図」タブを選択すると表示されます。



［系統図画面例（DL9320 の場合）］



［系統図画面例（DL9351 の場合）］

【機能】

■中・大型３相 UPS の運転状態を系統図で表示します。

【操作】

機能名称	動作概要	ショートカットキー
ヘルプボタン	ヘルプ画面を表示します。	Alt + H

【説明】

■バイパス入力電圧、商用入力電圧が系統図画面左側に、中・大型３相 UPS 内部が系統図画面中央に、出力電圧が系統図画面右側に、負荷率が系統図画面右下に表示されます。

■系統図が表示可能なアイコンは、以下のアイコンです。

・UPS（単機）アイコン

・UPS（並列）アイコン

■表示項目を以下に示します。

表示項目名称	表示内容
バイパス入力電圧	バイパス入力電圧の計測値を表示します。
入力電圧	商用入力電圧の計測値を表示します。
装置温度	装置温度の計測値を表示します。
バッテリ付近温度	バッテリ付近温度の計測値を表示します。
整流器	整流器運転時に表示します。
バッテリ電圧	バッテリ電圧の計測値を表示します。
バイパス	バイパス運転時に表示します。
インバータ	インバータ運転時に表示します。
同期	バイパス同期中に表示します。
出力電圧	出力電圧の計測値を表示します。
負荷率	負荷率を表示します。

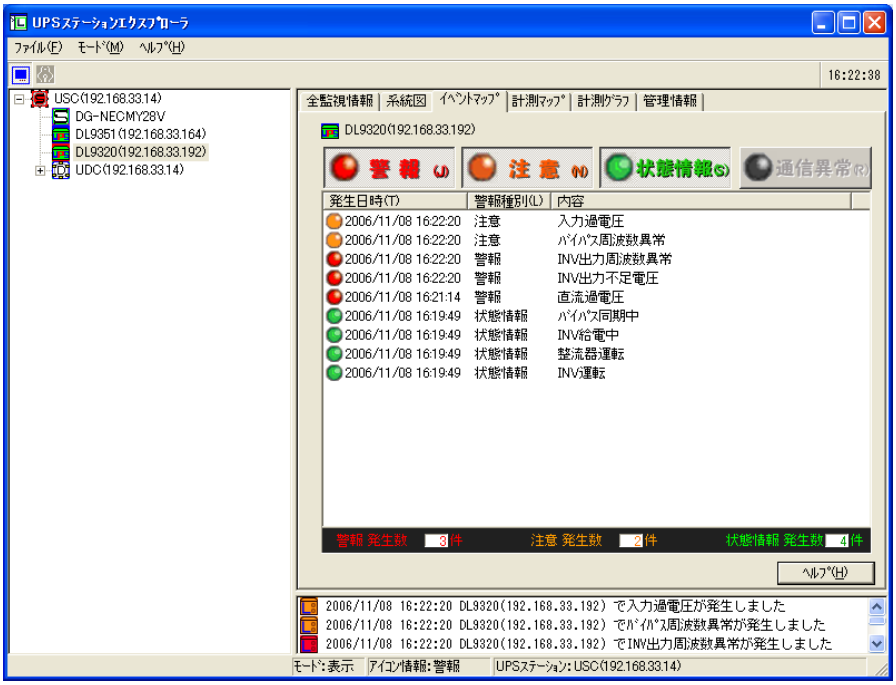
注意事項

※UPS によっては、計測していない項目があり、無効表示となる場合があります。

※UPS によっては、表示される内容が異なります。

イベントマップ

UPS ステーションエクスプローラ画面が表示モードの状態で、「イベントマップ」タブを選択すると表示されます。



［イベントマップ画面例］

【機能】

■中・大型 3 相 UPS 及び関連装置で発生している全警報情報を表示します。

【操作】

機能名称	動作概要	ショートカットキー
警報ボタン	警報イベントの表示／非表示を切り替えます。 ※凹で表示、凸で非表示します。	Alt + J
注意ボタン	注意イベントの表示／非表示を切り替えます。 ※凹で表示、凸で非表示します。	Alt + N
状態情報ボタン	状態情報の表示／非表示を切り替えます。 ※凹で表示、凸で非表示します。	Alt + S
通信異常ボタン	通信異常情報の表示／非表示を切り替えます。 ※凹で表示、凸で非表示します。	Alt + R
発生日時ヘッダボタン	発生日時の新しい順、古い順に並べ替え表示します。	Alt + T
警報種別ヘッダボタン	警報種別順に並べ替え表示します。	Alt + L
ヘルプボタン	ヘルプ画面を表示します。	Alt + H
キー入力	各有効ボタン、リストへ順にフォーカス移動します。 リスト選択時は矢印キーを使って行の移動をします。	Tab

※凹・・・ボタンの押下状態を表します。
凸・・・ボタンの押上状態を表します。

表示名称	表示内容
発生日時	イベントの発生日時を表示します。
警報種別	発生中の警報種別を表示します。 警報種別は警報／注意／状態情報のいずれかになります。
内容	発生中のイベントを表示します。

【説明】

■リスト内のアイコンの色は警報種別を表します。

警報・・・・赤色アイコン

注意・・・・黄赤色アイコン

状態情報・・緑色アイコン

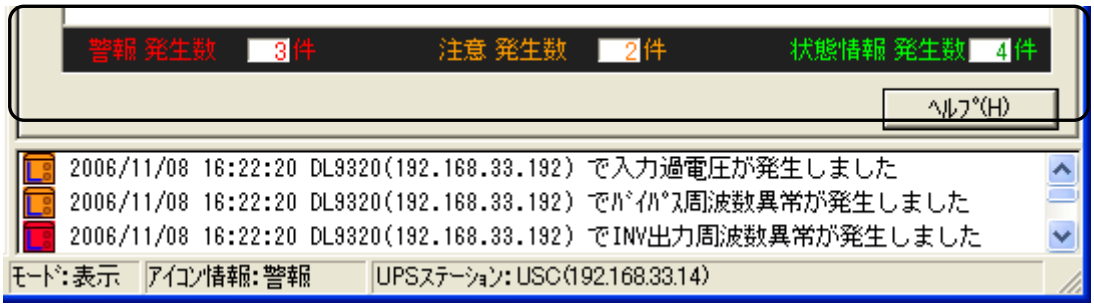
通信異常・・青灰色アイコン

■各ボタンは該当イベントが発生していない時は無効になり、発生した時点で有効になります。

各ボタンの有効時には、表示内容の表示非表示切り替えが可能です。

■発生日時、警報種別で並べ替えが可能です。

■警報種別ごとのイベント発生件数をイベントマップ画面下部に表示します。



［イベントマップ画面下部］

■イベントマップが表示可能なアイコンは、以下のアイコンです。

・UPS（単機）アイコン

・UPS（並列）アイコン

・保守バイパス盤／入出力盤アイコン

注意事項

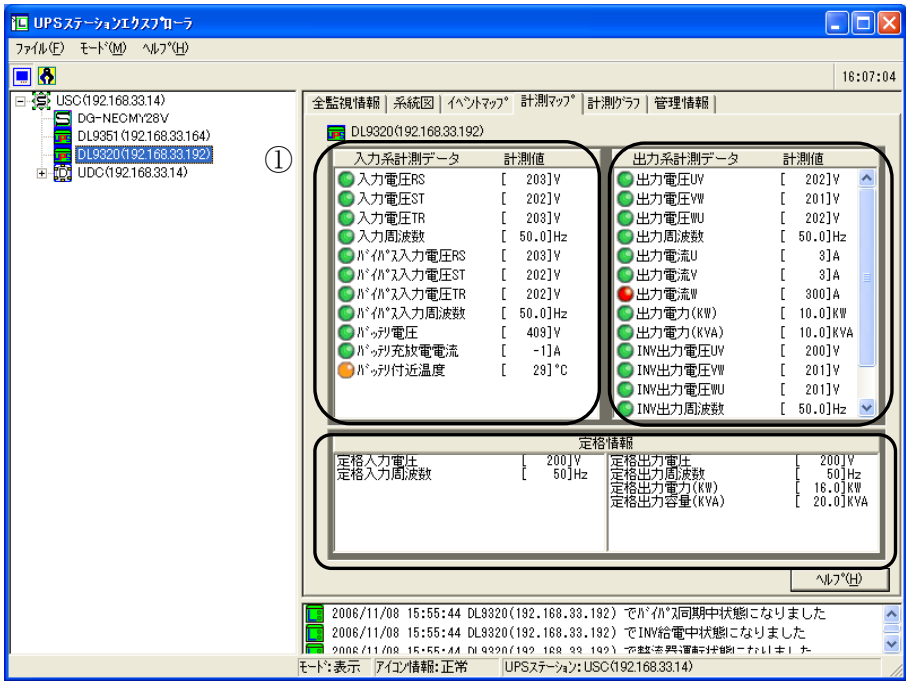
※通信異常発生時または、イベントが０件の時は以下の色のアイコンとコメントを表示します。

通信異常発生時・・・青灰色アイコン、「通信障害の為、データ取得不可能状態です。」

イベント０件時・・・無色アイコン、「現在、通知情報はありません。」

計測マップ

UPS ステーションエクスプローラ画面が表示モードの状態で、「計測マップ」タブを選択すると表示されます。



［計測マップ画面例］

【機能】

■中・大型 3 相 UPS 及び関連装置の全計測値状態、定格値状態を表示します。

・入力系計測データ表示部（画面①部分）

中・大型 3 相 UPS 及び関連装置でサポートされている現在の入力系計測データを表示します。また、バッテリ関連の計測データも表示します。

・出力系計測データ表示部（画面②部分）

中・大型 3 相 UPS 及び関連装置でサポートされている現在の出力系計測データを表示します。

・定格データ表示（画面③部分）

中・大型 3 相 UPS 及び関連装置での定格値情報を表示します。

【操作】

機能名称	動作概要	ショートカットキー
ヘルプボタン	ヘルプ画面を表示します。	Alt + H
キー入力	各リストへ順にフォーカス移動します。 リスト選択時は矢印キーを使って行の移動をします。	Tab

【説明】

■各表示項目の上下限情報表示マークは計測値によって表示色が変化します。

正常範囲内・・・・・・・・・・緑色

注意（上下限逸脱）領域・・・・黄赤色

定格外領域・・・・・・・・・・赤色

■計測マップが表示可能なアイコンは、以下のアイコンです。

・UPS（単機）アイコン

・UPS（並列）アイコン

・保守バイパス盤／入出力盤アイコン

■保守バイパス盤／入出力盤では入力系計測データは表示されません。

■計測マップで表示できる項目は次の通りです。

入力系計測データ表 ※表示される項目は、中・大型３相 UPS 及び関連装置のサポート状況により異なります。

入力系計測データ表示項目	概要
入力電圧ＲＳ	交流入力の電圧を表示します。
入力電圧ＳＴ	〃
入力電圧ＴＲ	〃
入力周波数	交流入力の周波数を表示します。
入力相電圧Ｒ	交流入力の相電圧を表示します。
入力相電圧Ｓ	〃
入力相電圧Ｔ	〃
入力電流Ｒ	交流入力の電流を表示します。
入力電流Ｓ	〃
入力電流Ｔ	〃
入力電力（KW）	交流入力の電力を表示します。
入力電力（ＫＶＡ）	交流入力の皮相電力を表示します。
入力力率	交流入力の力率を表示します。
バイパス入力電圧ＲＳ	バイパスの入力電圧を表示します。
バイパス入力電圧ＳＴ	〃
バイパス入力電圧ＴＲ	〃
バイパス入力周波数	バイパスの入力周波数を表示します。
バイパス入力相電圧Ｒ	バイパスの入力相電圧を表示します。
バイパス入力相電圧Ｒ－０	〃
バイパス入力相電圧Ｓ	〃
バイパス入力相電圧Ｓ－０	〃
バイパス入力相電圧Ｔ	〃
バッテリ電圧	バッテリの電圧を表示します。
バッテリ充放電電流	バッテリの充放電電流を表示します。
バッテリ付近温度	バッテリ付近の温度を表示します。
制御電源電圧	制御電源の電圧を表示します。
装置温度	装置温度を表示します。
ヒートシンク温度	ヒートシンクの温度を表示します。
排気温度	排気ファン付近の温度を表示します。

出力系計測データ表 ※表示される項目は、中・大型 3 相 UPS 及び関連装置のサポート状況により異なります。

出力系計測データ表示項目	概要
出力電圧ＵＶ	出力電圧を表示します。
出力電圧ＶW	〃
出力電圧WＵ	〃
出力周波数	出力周波数を表示します。
出力相電圧Ｕ	出力相電圧を表示します。
出力相電圧Ｕ－０	〃
出力相電圧Ｖ	〃
出力相電圧Ｖ－０	〃
出力相電圧W	〃
出力電流Ｕ	出力電流を表示します。
出力電流Ｖ	〃
出力電流W	〃
出力電流０	〃
出力電力（KW）	出力電力を表示します。
出力電力Ｕ（KW）	〃
出力電力Ｖ（KW）	〃
出力電力（ＫＶＡ）	皮相電力を表示します。
出力電力Ｕ（ＫＶＡ）	〃
出力電力Ｖ（ＫＶＡ）	〃
出力力率	出力力率を表示します。
ＩＮＶ出力電圧ＵＶ	インバータの出力電圧を表示します。
ＩＮＶ出力電圧ＶW	〃
ＩＮＶ出力電圧WＵ	〃
ＩＮＶ出力周波数	インバータの出力周波数を表示します。
ＩＮＶ出力相電圧Ｕ	インバータの出力相電圧を表示します。
ＩＮＶ出力相電圧Ｕ－０	〃
ＩＮＶ出力相電圧Ｖ	〃
ＩＮＶ出力相電圧Ｖ－０	〃
ＩＮＶ出力相電圧W	〃
ＩＮＶ出力電流Ｕ	インバータの出力電流を表示します。
ＩＮＶ出力電流Ｖ	〃
ＩＮＶ出力電流W	〃
ＩＮＶ出力ピーク電流Ｕ	インバータの出力ピーク電流を表示します。
ＩＮＶ出力ピーク電流Ｖ	〃
ＩＮＶ出力ピーク電流W	〃
直流電圧	直流電圧を表示します。
給電積算時間	給電運転時間の合計を表示します。
バッテリ運転回数	バッテリ運転の回数を表示します。

定格データ表　※表示される項目は、中・大型 3 相 UPS 及び関連装置のサポート状況により異なります。

定格データ表示項目	概要
定格入力電圧	定格入力電圧を表示します。
定格入力周波数	定格入力周波数を表示します。
定格出力容量（ＫＶＡ）	定格出力容量を表示します。
入力電流レベル	交流入力電流レベルを表示します。
直流電圧レベル	直流電圧レベルを表示します。
バッテリ充電電流レベル	バッテリの充電電流レベルを表示します。
バッテリ放電電流レベル	バッテリの放電電流レベルを表示します。
定格出力電圧	定格出力電圧を表示します。
定格出力周波数	定格出力周波数を表示します。
定格出力電力（KW）	定格出力電力を表示します。
定格出力容量（ＫＶＡ）	定格出力容量を表示します。
出力電流Ｕレベル	出力電流を表示します。
出力電流Ｖレベル	〃
出力電流Ｗレベル	〃

注意事項

※表示範囲を超える値は、下記の表示となります。

上下限情報表示マーク・・・赤色

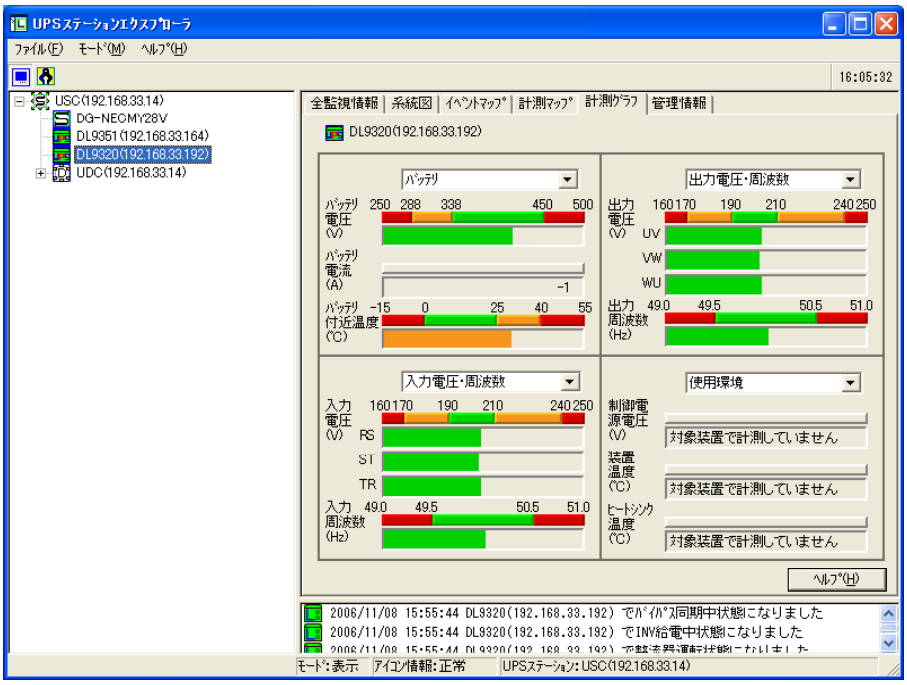
値の表現・・・・・・・・・・表示可能な値の場合は、そのままの値を表示します。

・・・・・・・・・・表示不可能な値の場合は、[EEEEEE]と表示します。

※UPS によっては、計測データ表示項目が変わる場合があります。

計測グラフ

UPS ステーションエクスプローラ画面が表示モードの状態で、「計測グラフ」タブを選択すると表示されます。



［計測グラフ画面例］

【機能】

■中・大型 3 相 UPS 及び関連装置の全計測値状態、定格値状態をグラフ形式でグラフィカルに表示します。

■４分割された表示領域ごとに視覚的にデータをモニタリングすることが可能です。

【操作】

機能名称	動作概要	ショートカットキー
上部右コンボボックス	上部右グラフに表示する項目を選択します。	無し
上部左コンボボックス	上部左グラフに表示する項目を選択します。	無し
下部右コンボボックス	下部右グラフに表示する項目を選択します。	無し
下部左コンボボックス	上部左グラフに表示する項目を選択します。	無し
ヘルプボタン	ヘルプ画面を表示します。	Alt + H
キー入力	各コンボボックスへ順にフォーカス移動します。 コンボボックス選択時は矢印キーを使って項目の選択をします。	Tab

【説明】

■計測グラフで表示できるグループ項目と表示グラフは次の通りです。

表示グループ項目	表示グラフ	概要
UPS 出力電圧･周波数	出力電圧ＵＶ	出力電圧を表示します。
	出力電圧ＶＷ	〃
	出力電圧ＷＵ	〃
	出力周波数	出力周波数を表示します。
入力電圧･周波数	入力電圧ＲＳ	交流入力の電圧を表示します。
	入力電圧ＳＴ	〃
	入力電圧ＴＲ	〃
	入力周波数	交流入力の周波数を表示します。
INV 出力電圧･周波数	出力電圧ＵＶ	インバータの出力電圧を表示します。
	出力電圧ＶＷ	〃
	出力電圧ＷＵ	〃
	出力周波数	インバータの出力周波数を表示します。
ﾊﾞｲﾊﾟｽ入力電圧･周波数	入力電圧ＲＳ	バイパスの入力電圧を表示します。
	入力電圧ＳＴ	〃
	入力電圧ＴＲ	〃
	入力周波数	バイパスの入力周波数を表示します。
UPS 出力相電圧	出力相電圧Ｕ	出力相電圧を表示します。
	出力相電圧Ｕ－０	〃
	出力相電圧Ｖ	〃
	出力相電圧Ｖ－０	〃
	出力相電圧Ｗ	〃
入力相電圧	入力相電圧Ｒ	交流入力の相電圧を表示します。
	入力相電圧Ｓ	〃
	入力相電圧Ｔ	〃
INV 出力相電圧	出力相電圧Ｕ	インバータの出力相電圧を表示します。
	出力相電圧Ｕ－０	〃
	出力相電圧Ｖ	〃
	出力相電圧Ｖ－０	〃
	出力相電圧Ｗ	〃
ﾊﾞｲﾊﾟｽ入力相電圧	入力相電圧Ｒ	バイパスの入力相電圧を表示します。
	入力相電圧Ｒ－０	〃
	入力相電圧Ｓ	〃
	入力相電圧Ｓ－０	〃
	入力相電圧Ｔ	〃
出力電流	出力電流Ｕ	出力電流を表示します。
	出力電流Ｖ	〃
	出力電流Ｗ	〃
	出力電流０	〃
入力電流	入力電流Ｒ	交流入力の電流を表示します。
	入力電流Ｓ	〃
	入力電流Ｔ	〃
INV 出力電流	出力電流Ｕ	インバータの出力電流を表示します。
	出力電流Ｖ	〃
	出力電流Ｗ	〃
出力(電力･力率)	出力電力（ＫＷ）	出力電力を表示します。
	出力電力（ＫＶＡ）	皮相電力を表示します。
	出力力率	出力力率を表示します。
入力(電力･力率)	入力電力（ＫＷ）	交流入力の電力を表示します。
	入力電力（ＫＶＡ）	交流入力の皮相電力を表示します。
	入力力率	交流入力の力率を表示します。

表示グループ項目	表示グラフ	概要
INV 出力ﾋﾟｰｸ電流	ピーク電流U	インバータの出力ピーク電流を表示します。
	ピーク電流V	〃
	ピーク電流W	〃
ﾊﾞｯﾃﾘ	バッテリ電圧	バッテリの電圧を表示します。
	バッテリ電流	バッテリの充放電電流を表示します。
	バッテリ付近温度	バッテリ付近の温度を表示します。
使用環境	制御電源電圧	制御電源の電圧を表示します。
	装置温度	装置温度を表示します。
	ヒートシンク温度	ヒートシンクの温度を表示します。
整流器	直流電圧	直流電圧を表示します。
負荷率	負荷率	負荷率を表示します。
出力電力U･V	出力電力U（KW）	出力電力を表示します。
	出力電力V（KW）	〃
	出力電力U（KVA）	皮相電力を表示します。
	出力電力V（KVA）	〃
排気温度	排気温度	排気ファン付近の温度を表示します。
運転時間	給電積算時間	給電運転時間の合計を表示します。
	バッテリ運転回数	バッテリ運転の回数を表示します。

■グラフ表示色は計測値によって変化します。
正常範囲内・・・・・・・・・・緑色
注意（上下限逸脱）領域・・・・赤黄色
定格外領域・・・・・・・・・・赤色

■計測グラフが表示できるアイコンは、以下のアイコンです。
・UPS（単機）アイコン
・UPS（並列）アイコン
・保守バイパス盤／入出力盤アイコン

■中・大型 3 相 UPS 及び関連装置でサポートされていない計測項目は「対象装置で計測していません」と表示されます。

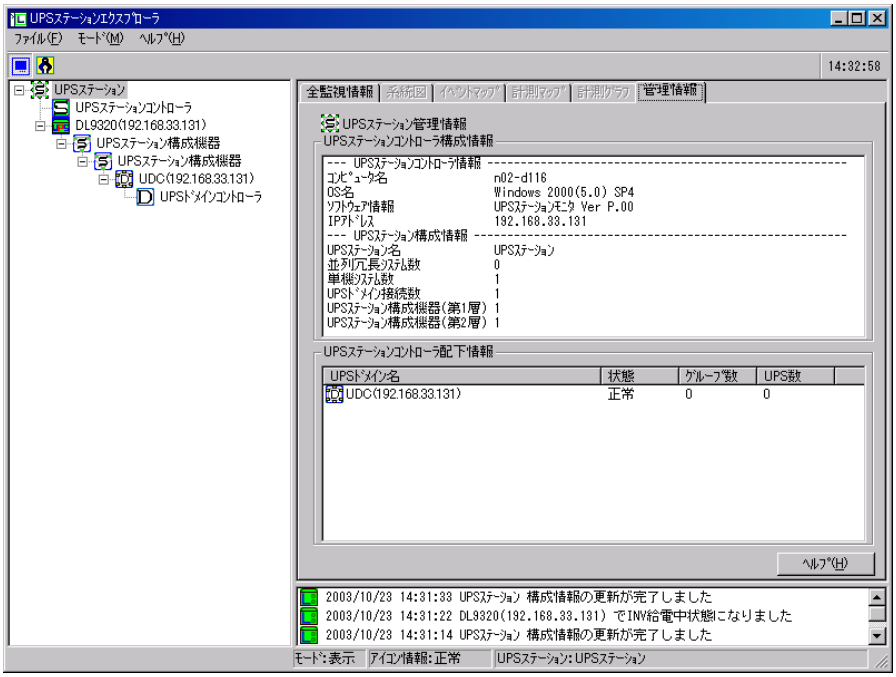
注意事項

※表示範囲を超える値は、下記の表示となります。
上限値を超える場合
グラフ表示色・・・・・・・赤色
値の表現・・・・・・・・・表示可能な値の場合は、そのままの値を表示します。
・・・・・・・・・表示不可能な値の場合は、[???]と表示します。
下限値を下回る場合
グラフ表示色・・・・・・・灰色
値の表現・・・・・・・・・表示可能な値の場合は、そのままの値を表示します。
・・・・・・・・・表示不可能な値の場合は、[???]と表示します。

※UPS によっては、表示グラフが変わる場合があります。

管理情報

UPS ステーションエクスプローラ画面が表示モードの状態で、「管理情報」タブを選択すると表示されます。



［管理情報画面例］

【機能】

■ツリー上に表示されている UPS ステーションや、各接続機器などの、管理情報を表示します。
　ツリー上から選択するものによって、表示内容は変わります

■表示内容は設定モードの「構成管理」にて入力及び変更が可能です。

【表示】

・UPS ステーション管理情報（UPS ステーションアイコンを選択した場合）

表示項目名	表示項目	表示内容
UPS ステーション構成情報	コンピュータ名	UPS ステーションとして使用しているコンピュータ名を表示します。
	ＯＳ名	UPS ステーションとして使用しているコンピュータのＯＳ名を表示します。
	ソフトウェア情報	電源管理ソフトウェア名及びバージョン情報を表示します。
	ＩＰアドレス	UPS ステーションとして使用しているコンピュータのＩＰアドレスを表示します。
	UPS ステーション名	UPS ステーション名を表示します。
	並列冗長システム数	中・大型 3 相 UPS が並列冗長で動作している並列冗長数を表示します。
	単機システム数	中・大型 3 相 UPS が単独で動作している装置数を表示します。
	UPS ドメイン接続数	UPS ステーション内の UPS ドメイン数を表示します。
	UPS ステーション構成機器（第１層）	UPS ステーション内の UPS ステーション構成機器（第１層）数を表示します。
	UPS ステーション構成機器（第２層）	UPS ステーション内の UPS ステーション構成機器（第２層）数を表示します。
UPS ステーション配下情報	UPS ドメイン名	UPS ステーション内の UPS ドメイン名を表示します。
	状態	UPS ドメインモニタの状態情報を表示します。
	グループ数	UPS ドメイン内の UPS グループ数を表示します。
	UPS 数	UPS ドメイン内の小型単相 UPS 数を表示します。

・UPS ステーションコントローラ管理情報（UPS ステーションコントローラアイコンを選択した場合）

表示項目名	表示項目	表示内容
コントローラ情報	コンピュータ名	UPS ステーションとして使用しているコンピュータ名を表示します。
	ＯＳ名	UPS ステーションとして使用しているコンピュータのＯＳ名を表示します。
	ソフトウェア情報	電源管理ソフトウェア名及びバージョン情報を表示します。
	ＩＰアドレス	UPS ステーションとして使用しているコンピュータのＩＰアドレスを表示します。
設備管理情報	設置場所	UPS ステーションの設置場所を表示します。※
	管理者名	UPS ステーションの管理者名を表示します。※
	使用者名	UPS ステーションの使用者名を表示します。※
	連絡先１	連絡先１を表示します。※
	連絡先２	連絡先２を表示します。※
	コメント	コメントを表示します。※

※　設定モードの構成管理で登録した情報が無ければ表示されません。
　　詳しくは『構成管理画面の設備管理情報ウィザードの【操作】』の項を参照してください

・UPS（単機）管理情報（UPS（単機）アイコンを選択した場合）

表示項目名	表示項目	表示内容
本体情報	モデル名	UPS（単機）の名称を表示します。
	シリアル No.	UPS（単機）のシリアル No. を表示します。
	プロダクト No.	UPS（単機）のプロダクト No. を表示します。
	ファームウェア Ver.	UPS（単機）の各種ファームウェア Ver. を表示します。※１
	UPS 通信 I/F	UPS（単機）の状態監視ポートがシリアル接続の場合は通信ポートを表示します。状態監視ポートが LAN の場合は、IP アドレスが表示されます。
	AC ソフトウェア情報	Network Agent Card のバージョンが表示されます。状態監視ポートが IP アドレスの時表示されます。
設備管理情報	設置場所	UPS（単機）に関する付随情報を表示します。※２
	管理者名	UPS（単機）の管理者名を表示します。※２
	使用者名	UPS（単機）の使用者名を表示します。※２
	連絡先１	連絡先１を表示します。※２
	連絡先２	連絡先２を表示します。※２
	コメント	コメントを表示します。※２
定格情報	定格出力容量	UPS（単機）の定格出力容量を表示します。
	定格消費電力	UPS（単機）の定格消費電力を表示します。
	定格出力電圧	UPS（単機）の定格出力電圧を表示します。
	定格出力周波数	UPS（単機）の定格出力周波数を表示します。
	定格入力電圧	UPS（単機）の定格入力電圧を表示します。
	定格入力周波数	UPS（単機）の定格入力周波数を表示します。

※１　ファームウェア Ver には「ModelType」、「Control」、「Inverter」、「Rectifire」、「Interface」、「Display」があり、UPS（単機）のサポート状況により表示項目は変わります。

※２　設定モードの構成管理で登録した情報が無ければ表示されません。
詳しくは『構成管理画面の設備管理情報ウィザードの【操作】』の項を参照してください。

・保守バイパス盤／入出力盤管理情報（保守バイパス盤／入出力盤アイコンを選択した場合）

表示項目名	表示項目	表示内容
本体情報	モデル名	保守バイパス盤／入出力盤名称を表示します。
	シリアル No.	保守バイパス盤／入出力盤のシリアル No.を表示します。
	プロダクト No.	保守バイパス盤／入出力盤のプロダクト No.を表示します。
	ファームウェア Ver.	保守バイパス盤／入出力盤の各種ファームウェア Ver.を表示します。※１
	UPS 通信 I/F	保守バイパス盤／入出力盤の状態監視ポートがシリアル接続の場合は通信ポートを表示します。状態監視ポートが LAN の場合は、IP アドレスが表示されます。
	AC ソフトウェア情報	Network Agent Card のバージョンが表示されます。状態監視ポートが IP アドレスの時表示されます。
	登録 UPS 台数	保守バイパス盤／入出力盤に接続されている UPS（並列）の数を表示します。
設備管理情報	設置場所	保守バイパス盤／入出力盤に関する付随情報を表示します。※２
	管理者名	保守バイパス盤／入出力盤の管理者名を表示します。※２
	使用者名	保守バイパス盤／入出力盤の使用者名を表示します。※２
	連絡先１	連絡先１を表示します。※２
	連絡先２	連絡先２を表示します。※２
	コメント	コメントを表示します。※２
定格情報	定格出力容量	保守バイパス盤／入出力盤の定格出力容量を表示します。
	定格消費電力	保守バイパス盤／入出力盤の定格消費電力を表示します。
	定格出力電圧	保守バイパス盤／入出力盤の定格出力電圧を表示します。
	定格出力周波数	保守バイパス盤／入出力盤の定格出力周波数を表示します。

※１　ファームウェア Ver には「ModelType」、「Control」、「Inverter」、「Rectifire」、「Interface」、「Display」があり、保守バイパス盤／入出力盤のサポート状況により表示項目は変わります。

※２　設定モードの構成管理で登録した情報が無ければ表示されません。
詳しくは『構成管理画面の設備管理情報ウィザードの【操作】』の項を参照してください。

・UPS（並列）管理情報（UPS（並列）アイコンを選択した場合）

表示項目名	表示項目	表示内容
本体情報	モデル名	UPS（並列）の名称を表示します。
	シリアル No.	UPS（並列）のシリアル No. を表示します。
	プロダクト No.	UPS（並列）のプロダクト No. を表示します。
	ファームウェア Ver.	UPS（並列）の各種ファームウェア Ver. を表示します。※１
	UPS 通信 I/F	UPS（並列）の状態監視ポートがシリアル接続の場合は通信ポートを表示します。状態監視ポートが LAN の場合は、IP アドレスが表示されます。
	AC ソフトウェア情報	Network Agent Card のバージョンが表示されます。状態監視ポートが IP アドレスの時表示されます。
設備管理情報	設置場所	UPS（並列）に関する付随情報を表示します。※２
	管理者名	UPS（並列）の管理者名を表示します。※２
	使用者名	UPS（並列）の使用者名を表示します。※２
	連絡先１	連絡先１を表示します。※２
	連絡先２	連絡先２を表示します。※２
	コメント	コメントを表示します。※２
定格情報	定格出力容量	UPS（並列）の定格出力容量を表示します。
	定格消費電力	UPS（並列）の定格消費電力を表示します。
	定格出力電圧	UPS（並列）の定格出力電圧を表示します。
	定格出力周波数	UPS（並列）の定格出力周波数を表示します。
	定格入力電圧	UPS（並列）の定格入力電圧を表示します。
	定格入力周波数	UPS（並列）の定格入力周波数を表示します。

※１　ファームウェア Ver には「ModelType」、「Control」、「Inverter」、「Rectifire」、「Interface」、「Display」があり、UPS（並列）のサポート状況により表示項目は変わります。

※２　設定モードの構成管理で登録した情報が無ければ表示されません。
詳しくは『構成管理画面の設備管理情報ウィザードの【操作】』の項を参照してください。

・UPS ステーション構成機器（第１層）管理情報（UPS ステーション構成機器（第１層）アイコンを選択した場合）

表示項目名	表示項目	表示内容
設備管理情報	接続機器種別	第１層に接続している UPS ステーション構成機器の種別を表示します。※
	接続機器名称	第１層に接続している UPS ステーション構成機器の接続機器名称を表示します。※
	設置場所	第１層に接続している UPS ステーション構成機器の設置場所を表示します。※
	管理者名	第１層に接続している UPS ステーション構成機器の管理者名を表示します。※
	使用者名	第１層に接続している UPS ステーション構成機器の使用者名を表示します。※
	連絡先１	連絡先１を表示します。※
	連絡先２	連絡先２を表示します。※
	コメント	コメントを表示します。※
UPS ステーション構成機器（第２層）情報	－	第２層に接続している UPS ステーション構成機器名称を表示します。

※　設定モードの構成管理で登録した情報が無ければ表示されません。
　　詳しくは『構成管理画面の設備管理情報ウィザードの【操作】』の項を参照してください。

・UPS ステーション構成機器（第２層）管理情報（UPS ステーション構成機器（第２層）アイコンを選択した場合）

表示項目名	表示項目	表示内容
設備管理情報	接続機器種別	第２層に接続している UPS ステーション構成機器の種別を表示します。※
	接続機器名称	２層目に接続されている機器の接続機器名称を表示します。※
	設置場所	２層目に接続されている機器の設置場所を表示します。※
	管理者名	２層目に接続されている機器の管理者名を表示します。※
	使用者名	２層目に接続されている機器の使用者名を表示します。※
	連絡先１	連絡先１を表示します。※
	連絡先２	連絡先２を表示します。※
	コメント	コメントを表示します。※

※　設定モードの構成管理で登録した情報が無ければ表示されません。
　　詳しくは『構成管理画面の設備管理情報ウィザードの【操作】』の項を参照してください。

・UPS ドメイン管理情報（UPS ドメインアイコンを選択した場合）

表示項目名	表示項目	表示内容
UPS ワークグループ 管理情報	UPS ワークグループ名	※現在は表示されません。
	状態	
	グループ数	
	UPS 数	
UPS グループ 管理情報	UPS グループ名	UPS ドメイン内の UPS グループ名を表示します。
	状態	UPS グループの状態情報を表示します。
	構成	小型単相 UPS のプロダクトＮｏとシリアルＮｏを表示します。
	メンバ	UPS グループ内の UPS モニタ（メンバ）数を表示します。
	接続機器数	UPS グループ内の接続機器数を表示します。

・UPS ドメインコントローラ管理情報（UPS ドメインコントローラアイコンを選択した場合）

表示項目名	表示項目	表示内容
コントローラ情報	コンピュータ名	UPS ドメインコントローラとして使用しているコンピュータ名を表示します。
	ＯＳ名	UPS ドメインコントローラとして使用しているコンピュータのＯＳ名を表示します。
	ソフトウェア情報	電源管理ソフトウェア名及びバージョン情報を表示します。
	ＩＰアドレス	UPS ドメインコントローラとして使用しているコンピュータのＩＰアドレスを表示します。
	冗長監視	※現在は無効です。
設備管理情報	設置場所	UPS ドメインコントローラの設置場所を表示します。※
	管理者名	UPS ドメインコントローラの管理者名を表示します。※
	使用者名	UPS ドメインコントローラの使用者名を表示します。※
	連絡先１	連絡先１を表示します。※
	連絡先２	連絡先２を表示します。※
	コメント	コメントを表示します。※

※　設定モードの構成管理で登録した情報が無ければ表示されません。
　　詳しくは『構成管理画面の設備管理情報ウィザードの【操作】』の項を参照してください

• UPS グループ管理情報（UPS グループアイコンを選択した場合）

表示項目名	表示項目	表示内容
コントローラ情報	コンピュータ名	UPS モニタ（コントローラ）として使用しているコンピュータ名を表示します。
	ＯＳ名	UPS モニタ（コントローラ）として使用しているコンピュータのＯＳ名を表示します。
	ソフトウェア情報	電源管理ソフトウェア名及びバージョン情報を表示します。
	ＩＰアドレス	UPS モニタ（コントローラ）として使用しているコンピュータのＩＰアドレスを表示します。 ネットワーク ID の設定をコンピュータ名で行っている場合は先頭に“*”が表示されます。
グループ構成情報	グループ名	UPS グループ名を表示します。
	UPS モニタ（メンバ）数	UPS グループ内の UPS モニタ（メンバ）数を表示します。
	負荷セグメント数	UPS グループ内の負荷セグメント数を表示します。
	接続機器数	UPS グループ内の接続機器数を表示します。
配下メンバ情報	―	UPS グループ内の UPS モニタ（メンバ）名を表示します。

• Network Agent Card 管理情報（Network Agent Card アイコンを選択した場合）

表示項目名	表示項目	表示内容
コントローラ情報	コントローラ名	UPS モニタ（コントローラ）として使用している Network Agent Card 名を表示します。
	ソフトウェア情報	電源管理ソフトウェア名及びバージョン情報を表示します。
	ＩＰアドレス	UPS モニタ（コントローラ）として使用している Network Agent Card のＩＰアドレスを表示します。
グループ構成情報	グループ名	Network Agent Card 名を表示します。
	UPS モニタ（メンバ）数	Network Agent Card が管理している UPS モニタ（メンバ）数を表示します。
	負荷セグメント数	Network Agent Card が管理している負荷セグメント数を表示します。
	接続機器数	Network Agent Card が管理している接続機器数を表示します。
配下メンバ情報	―	Network Agent Card が管理している UPS モニタ（メンバ）名を表示します。

・小型単相 UPS 管理情報（小型単相 UPS アイコンを選択した場合）

表示項目名	表示項目	表示内容
本体情報	UPS 名	小型単相 UPS 名称を表示します。※５
	I/O ﾓｼﾞｭｰﾙ名	DL9126-RAPS のモジュール名を表示します。※３
	シリアル No.	小型単相 UPS のシリアル No. を表示します。※２
	プロダクト No.	小型単相 UPS のプロダクト No. を表示します。※２
	ファームウェア Ver.	小型単相 UPS のファームウェア Ver. を表示します。※２
	UPS 接続通信ポート	小型単相 UPS の接続通信ポートを表示します。
	運転構成	DL9126-RAPS　シリーズの構成を表示します。※３
	搭載 UPM 台数	DL9126-RAPS　シリーズに搭載されている UPM 台数を表示します。※３
設備管理情報	設置場所	小型単相 UPS の設置場所を表示します。※１
	管理者名	小型単相 UPS の管理者名を表示します。※１
	使用者名	小型単相 UPS の使用者名を表示します。※１
	連絡先１	連絡先１を表示します。※１
	連絡先２	連絡先２を表示します。※１
	コメント	コメントを表示します。※１
定格情報	定格出力容量	小型単相 UPS の定格出力容量を表示します。※２
	定格消費電力	小型単相 UPS の定格消費電力を表示します。※２
	定格出力電圧	小型単相 UPS の定格出力電圧を表示します。※２
	定格出力周波数	小型単相 UPS の定格出力周波数を表示します。※２
	定格入力電圧	小型単相 UPS の定格入力電圧を表示します。※２
	定格入力周波数	小型単相 UPS の定格入力周波数を表示します。※２
UPM 管理情報	UPM モデル名	DL9126-RAPS　シリーズの小型単相ＵＰＳ名称を表示します。※３
	号機番号	UPM 管理情報修正ダイアログで登録した番号を表示します。※３※４
	シリアル No.	DL9126-RAPS　シリーズのシリアル No. を表示します。※３
	プロダクト No.	DL9126-RAPS シリーズのプロダクト No. を表示します。※３
	ファームウェア Ver	DL9126-RAPS　シリーズのファームウェア Ver. を表示します。※３
	コメント	UPM 管理情報修正ダイアログで登録したコメントを表示します。※３※４

※１　設定モードの構成管理で登録した情報が無ければ表示されません。
　　詳しくは『構成管理画面の設備管理情報ウィザードの【操作】』の項を参照してください。
※２　接点方式の UPS の場合は表示されません。
※３　DL9126-RAPS　シリーズの場合だけ表示します。
※４　設定モードの「UPM 管理情報の変更」で登録した情報が無ければ表示されません。
※５　DL9126-RAPS　シリーズの場合表示されません。

・各種負荷セグメント管理情報（各種負荷セグメントアイコンを選択した場合）

表示項目名	表示項目	表示内容
―	状態	各種負荷セグメントに接続している接続機器状態を表示します。
	接続機器種別	各種負荷セグメントに接続している接続機器種別を表示します。
	名称	各種負荷セグメントに接続している接続機器名称を表示します。

・UPS モニタ（コントローラ）管理情報（UPS モニタ（コントローラ）アイコンを選択した場合）

表示項目名	表示項目	表示内容
コントローラ情報	コンピュータ名 または コントローラ名	UPS モニタ（コントローラ）として使用しているコンピュータ名を表示します。 Network Agent Card のアイコンを選択した場合は、コントローラ名を表示します。
	ＯＳ名	UPS モニタ（コントローラ）として使用しているコンピュータのＯＳ名を表示します。
	ソフトウェア情報	電源管理ソフトウェア名及びバージョン情報を表示します。
	ＩＰアドレス	UPS モニタ（コントローラ）として使用しているコンピュータのＩＰアドレスを表示します。 ネットワーク ID の設定をコンピュータ名で行っている場合は先頭に“*”が表示されます。
設備管理情報	設置場所	UPS モニタ（コントローラ）の設置場所を表示します。※
	管理者名	UPS モニタ（コントローラ）の管理者名を表示します。※
	使用者名	UPS モニタ（コントローラ）の使用者名を表示します。※
	連絡先１	連絡先１を表示します。※
	連絡先２	連絡先２を表示します。※
	コメント	コメントを表示します。※

※　設定モードの構成管理で登録した情報が無ければ表示されません。
　　詳しくは『構成管理画面の設備管理情報ウィザードの【操作】』の項を参照してください

・UPS モニタ（メンバ）管理情報（UPS モニタ（メンバ）アイコンを選択した場合）

表示項目名	表示項目	表示内容
UPS メンバ情報	コンピュータ名	UPS モニタ（メンバ）として使用しているコンピュータ名を表示します。※１
	ＯＳ名	UPS モニタ（メンバ）として使用しているコンピュータのＯＳ名を表示します。
	ソフトウェア情報	電源管理ソフトウェア名及びバージョン情報を表示します。
	ＩＰアドレス	UPS モニタ（メンバ）として使用しているコンピュータのＩＰアドレスを表示します。 ネットワーク ID の設定をコンピュータ名で行っている場合は先頭に“*”が表示されます。
設備管理情報	設置場所	UPS モニタ（メンバ）の設置場所を表示します。 ※２
	管理者名	UPS モニタ（メンバ）の管理者名を表示します。 ※２
	使用者名	UPS モニタ（メンバ）の使用者名を表示します。 ※２
	連絡先１	連絡先１を表示します。※２
	連絡先２	連絡先２を表示します。※２
	コメント	コメントを表示します。※２

※１　マルチコントローラ機能を使用している UPS メンバの場合、先頭に“＊”が付与されます。
　　但し、構成管理で名称を変更した場合はその名称が表示されます。

※２　設定モードの構成管理で登録した情報が無ければ表示されません。
　　詳しくは『構成管理画面の設備管理情報ウィザードの【操作】』の項を参照してください

【操作】

機能名称	動作概要	ショートカットキー
ヘルプボタン	ヘルプ画面を表示します。	Alt + H
キー入力	各項目へフォーカス移動します。 リスト選択時は矢印キーを使って行の移動をします。	Tab

【説明】

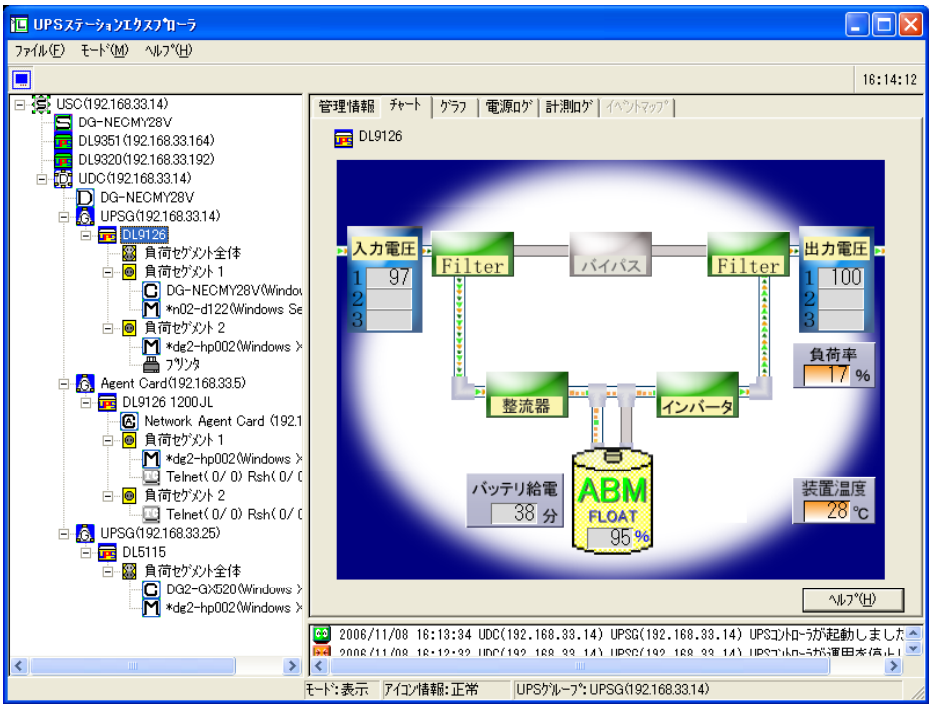
■UPS ステーションエクスプローラ画面のツリー表示から選択されているアイコンによって、表示内容は異なります。

・UPS ステーションを選択した時には、UPS ステーション管理情報を表示します。
・UPS ステーションコントローラを選択した時には、UPS ステーションコントローラ管理情報を表示します。
・UPS（単機）を選択した時には、UPS（単機）管理情報を表示します。
・保守バイパス盤／入出力盤を選択した時には、保守バイパス盤／入出力盤管理情報を表示します。
・UPS（並列）を選択した時には、UPS（並列）管理情報を表示します。
・UPS ステーション構成機器を選択した時には、UPS ステーション構成機器管理情報を表示します。
・UPS ドメインを選択した時には、UPS ドメイン管理情報を表示します。
・UPS ドメインコントローラを選択した時には、UPS ドメインコントローラ管理情報を表示します。
・UPS グループを選択した時には、UPS グループ管理情報を表示します。
・Network Agent Card を選択したときには、Network Agent Card 管理情報を表示します。
・小型単相 UPS を選択した時には、小型単相 UPS 管理情報を表示します。
・負荷セグメントを選択した時には、負荷セグメント管理情報を表示します。
・UPS モニタ（コントローラ）を選択した時には、UPS モニタ（コントローラ）管理情報を表示します。
・UPS モニタ（メンバ）を選択した時には、UPS モニタ（メンバ）管理情報を表示します。
・その他は接続機器管理情報を表示します。

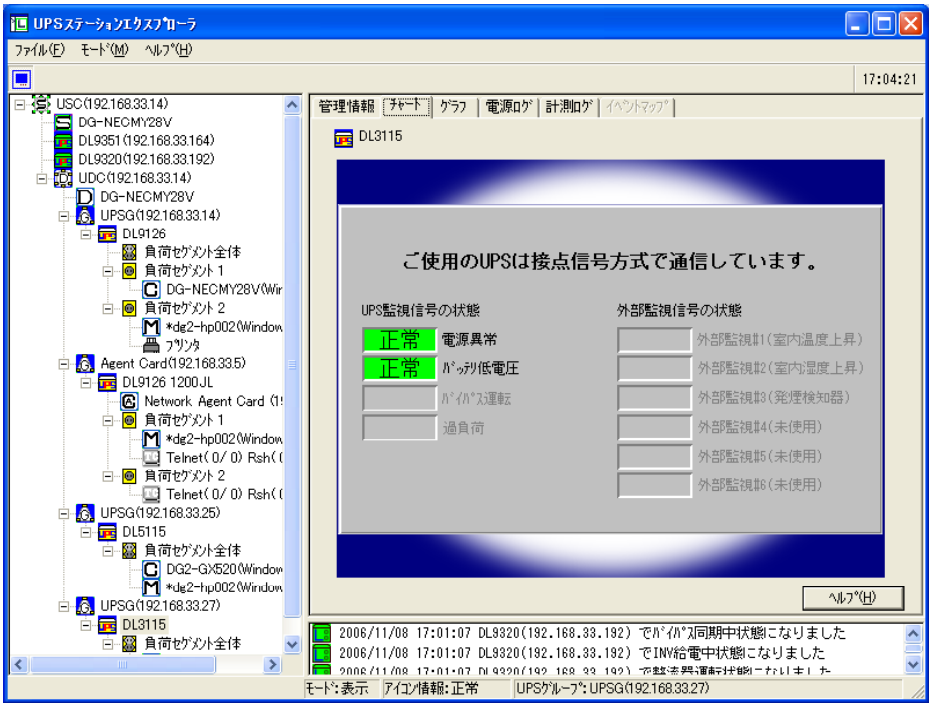
■管理情報の登録/変更/削除/移動を行う場合は、設定モードの「構成管理」で行ってください。詳しくは、『**構成管理**』の項を参照してください。

チャート

UPS ステーションエクスプローラ画面が表示モードの状態で、「チャート」タブを選択すると表示されます。



［チャート画面例］



［チャート画面例（接点方式）］

【機能】

■小型単相 UPS の運転状態をチャート表示します。

【操作】

機能名称	動作概要	ショートカットキー
ヘルプボタン	ヘルプ画面を表示します。	Alt + H

【説明】

■入力電圧がチャート画面左側に、小型単相 UPS 内部がチャート画面中央に、出力電圧がチャート画面右側に表示されます。

バッテリ給電はバッテリ運転残時間（推定バックアップ時間）を示します。小型単相 UPS 内部の表示はご使用になる小型単相 UPS モデルによって異なります。

■チャートが表示可能なアイコンは、以下のアイコンです。

・小型単相 UPS アイコン

・Network Agent Card アイコン

■DL9128 シリーズの UPS を監視の際は、UPS に設定されている「通常モード」「ＨＥモード」「インテリジェントモード」の各モードをチャート図の中央に表示します。また、「インテリジェントモード」の際は、運転状態を元に「インテリジェントモード-通常」、「インテリジェントモード-HE」を表示します。

※バイパス運転やバッテリ運転時においては、設定されているモード状態を継続して表示します。
各モード状態に関しては、UPS 本体の取扱説明書をご参照ください。

注意事項

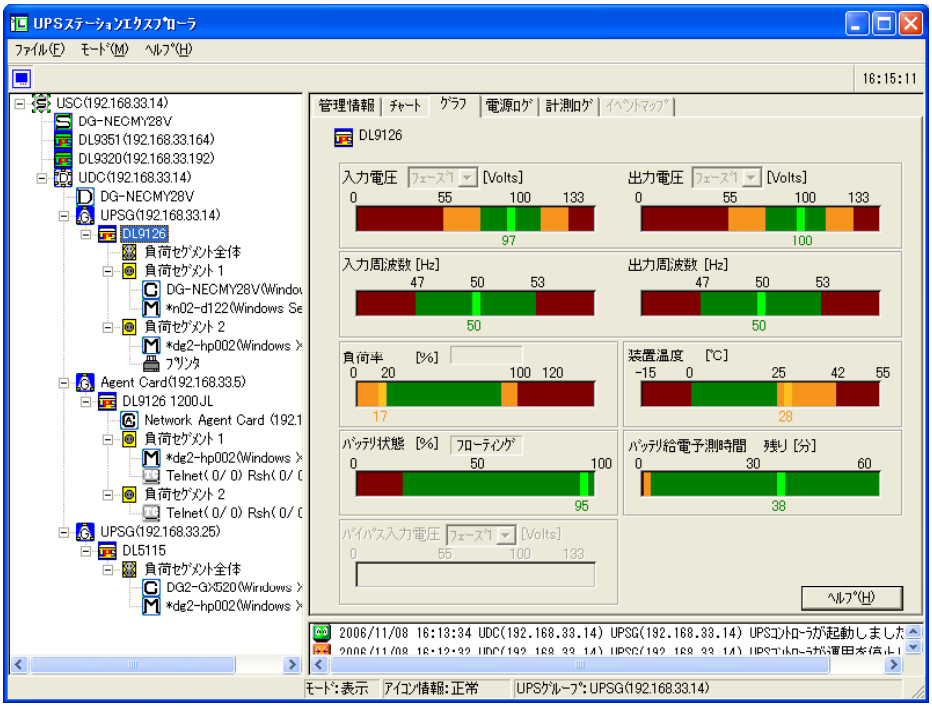
※接点方式インタフェースの小型単相 UPS では表示内容が異なります。

※バッテリ給電時間は、使用環境(負荷条件、温度、使用回数、充電状態など)により実際の動作と異なる場合があります。

※UPS によっては、計測していない項目があり、無効表示となる場合があります。

グラフ

UPS ステーションエクスプローラ画面が表示モードの状態で、「グラフ」タブを選択すると表示されます。



［グラフ画面例］

【機能】

■棒グラフとテキスト表示を行い、小型単相 UPS の電源状態を表示します。

【操作】

機能名称	動作概要	ショートカットキー
入力電圧コンボボックス	入力電圧の表示内容をフェーズ毎に切り替えます。	無し
出力電圧コンボボックス	出力電圧の表示内容をフェーズ毎に切り替えます。	無し
ヘルプボタン	ヘルプ画面を表示します。	Alt + H

【説明】

■入力電圧、出力電圧のグラフの色は電圧状態を示します。

緑色は許容運転範囲、黄色は通常運転の限界値、赤色は範囲外（バックアップ状態など）を示します。商用電源が高すぎたり、低すぎたりする場合は、小型単相 UPS はアラームを鳴らしてバックアップ運転に切り替わります。

負荷率が､黄色の場合は軽負荷状態を示し､赤色の場合は小型単相 UPS が過負荷状態である事を示しています。過負荷状態の場合は、負荷となる機器を小型単相 UPS から外してください。

■グラフが表示可能なアイコンは、以下のアイコンです。

・小型単相 UPS アイコン

・Network Agent Card アイコン

注意事項

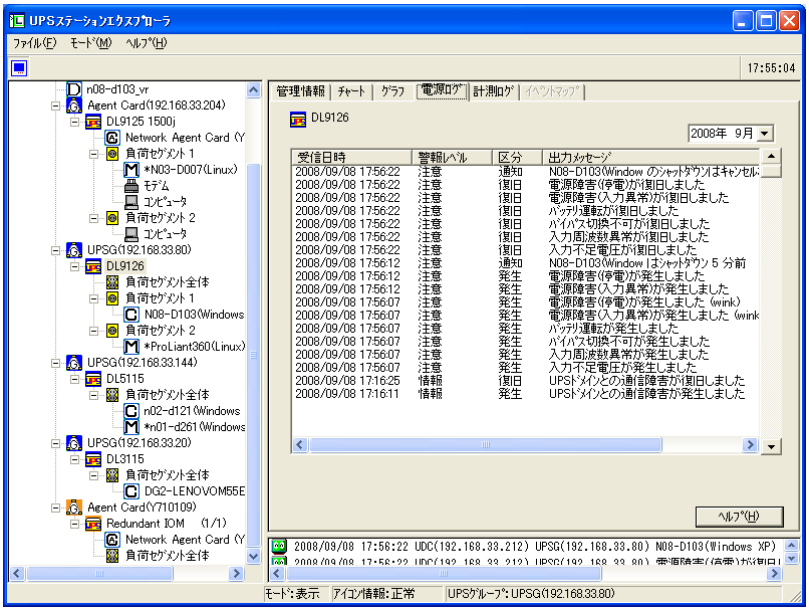
※接点方式インタフェースの小型単相 UPS では、グラフ表示はされません。

※バイパス入力電圧は、DL9126-RAPS　シリーズのみで有効表示されます。それ以外では無効表示となります。

※UPS によっては、計測していない項目があり、無効表示となる場合があります。

電源ログ

UPS ステーションエクスプローラ画面が表示モードの状態で、「電源ログ」タブを選択すると表示されます。


UPSステーションエクスプローラ
ファイル(F) モード(M) ヘルプ(H)
17:55:04
管理情報 チャート グラフ 電源ログ 計測ログ イベントマップ
DL9126
2008年 9月
受信日時 警報レベル 区分 出力メッセージ
2008/09/08 17:56:22 注意 通知 N08-D103(Window のシャットダウンはキャンセル
2008/09/08 17:56:22 注意 復旧 電源障害(停電)が復旧しました
2008/09/08 17:56:22 注意 復旧 電源障害(入力異常)が復旧しました
2008/09/08 17:56:22 注意 復旧 バッテリ運転が復旧しました
2008/09/08 17:56:22 注意 復旧 バイパス切換不可が復旧しました
2008/09/08 17:56:22 注意 復旧 入力周波数異常が復旧しました
2008/09/08 17:56:22 注意 復旧 入力不足電圧が復旧しました
2008/09/08 17:56:12 注意 通知 N08-D103(Window はシャットダウン 5 分前
2008/09/08 17:56:12 注意 発生 電源障害(停電)が発生しました
2008/09/08 17:56:12 注意 発生 電源障害(入力異常)が発生しました
2008/09/08 17:56:07 注意 発生 電源障害(停電)が発生しました (wink)
2008/09/08 17:56:07 注意 発生 電源障害(入力異常)が発生しました (wink
2008/09/08 17:56:07 注意 発生 バッテリ運転が発生しました
2008/09/08 17:56:07 注意 発生 バイパス切換不可が発生しました
2008/09/08 17:56:07 注意 発生 入力周波数異常が発生しました
2008/09/08 17:56:07 注意 発生 入力不足電圧が発生しました
2008/09/08 17:16:25 情報 復旧 UPSドメインとの通信障害が復旧しました
2008/09/08 17:16:11 情報 発生 UPSドメインとの通信障害が発生しました
ヘルプ(H)
2008/09/08 17:56:22 UDC(192.168.33.212) UPSG(192.168.33.80) N08-D103(Windows XP)
モード:表示 アイコン情報:正常 UPSグループ:UPSG(192.168.33.80)

［電源ログ画面例］

【機能】

■電源ログ内容を表示します。

【操作】

機能名称	動作概要	ショートカットキー
年月コンボボックス	電源イベントログを表示する年月を選択します。	無し
ヘルプボタン	ヘルプ画面を表示します。	Alt + H
キー入力（フォーカス）	各入力項目、ボタンへ順にフォーカス移動します。 リスト選択時は矢印キーを使って項目の移動をします。	Tab

表示名称	表示内容
受信日時	イベント発生の受信日時を表示します。
警報レベル	イベントの警報種別を表示します。警報種別は警報／注意／情報のいずれかになります。
区分	イベントの区分を表示します。区分は発生／復旧／通知のいずれかになります。
出力メッセージ	イベントメッセージ内容を表示します。

【説明】

■電源ログは当月から 11 ヶ月前までの 1 年分表示可能です。電源ログファイルが指定ディレクトリに存在しない場合は表示されません。

■電源ログが表示可能なアイコンは、以下のアイコンです。

・UPS ドメインコントローラアイコン

・UPS グループアイコン

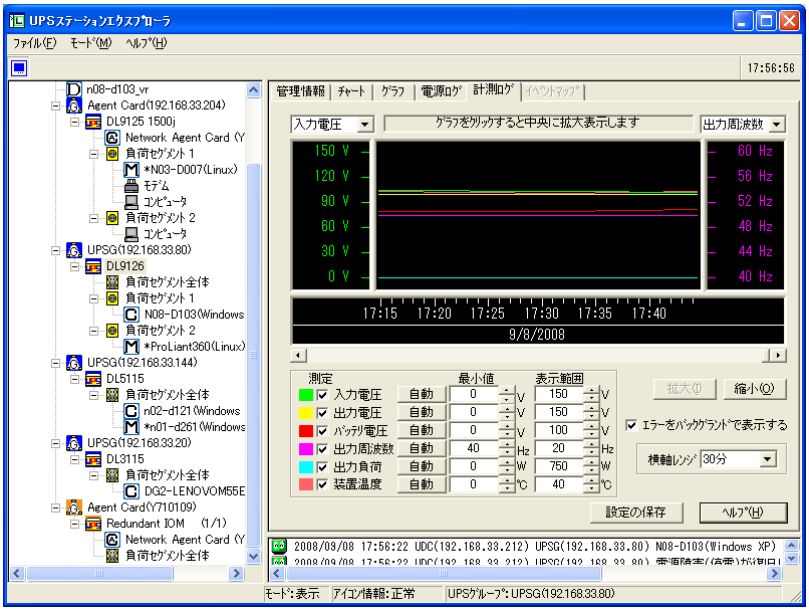
・小型単相 UPS アイコン

■Network Agent Card の電源ログは、telnet により閲覧が可能です。

詳しくは **UPS ステーション 「付録編」**の「トラブルシューティング」を参照してください。

計測ログ

UPS ステーションエクスプローラ画面が表示モードの状態で、「計測ログ」タブを選択すると表示されます。



［計測ログ画面例］

【機能】

■計測ログデータ（入力電圧、出力電圧、バッテリ電圧、出力周波数、出力負荷、装置温度）をグラフィカルに表示します。

■縮尺の変更が可能です。

■Network Agent Card の計測ログは、telnet により閲覧が可能です。
詳しくは **UPS ステーション 「付録編」**の「トラブルシューティング」を参照してください。

【操作】

機能名称	動作概要	ショートカットキー
上部左コンボボックス	グラフの左側軸に表示する項目を選択します。	無し
上部右コンボボックス	グラフの右側軸に表示する項目を選択します。	無し
グラフ縦軸	上部左コンボボックス、上部右コンボボックスに表示されている項目をグラフ縦軸の表示範囲として表示します。該当する折れ線グラフと同色です。	無し
グラフ横軸	グラフ表示しているログの取得日時を表示します。	無し
グラフ表示	計測ログをグラフ表示します。	無し
測定チェックボックス	グラフ表示する項目を選択します。	無し
自動ボタン	最小値、表示範囲を自動的に決めます。	無し
最小値	各項目のグラフ縦軸の最小値を入力します。	無し
表示範囲	各項目のグラフ縦軸全体の幅を入力します。	無し
拡大ボタン	グラフ横軸の目盛りを拡大します。目盛り幅を１分まで拡大可能です。	Alt + I
縮小ボタン	グラフ横軸の目盛りを縮小します。目盛り幅を１日まで縮小可能です。	Alt + O
エラーをバックグラウンドで表示するチェックボックス	チェックすると、電源障害発生時を示す上下の三角表示間を、赤色帯で結びます。	無し
横軸レンジコンボボックス	横軸のレンジを選択します。最大値は３０日、最小値は３０分です。	無し
設定の保存ボタン	現在の設定値を保存します。	無し
ヘルプボタン	ヘルプ画面を表示します。	Alt + H
キー入力（フォーカス）	各入力項目、ボタンへ順にフォーカス移動します。	Tab

【説明】

■計測ログで表示できる項目と各項目で設定できる最小値、表示範囲の設定値は次の通りです。

表示項目	最小値	表示範囲
入力電圧	0～320 (V)	5～320 (V)
出力電圧	0～320 (V)	5～320 (V)
バッテリ電圧	0～60 (V)	5～80 (V)
出力周波数	0～60 (Hz)	5～100 (Hz)
出力負荷	0～32000 (W)	5～32000 (W)
装置温度	-50～100 (℃)	5～150 (℃)

■グラフは、入力電圧を緑色、出力電圧を黄色、バッテリ電圧を赤色、出力周波数を桃色、出力負荷を青色、装置温度を橙色で表示します。

■ログデータを CSV 形式のテキストファイルで保存します。
ログデータは、UPS モニタ（コントローラ）をインストールしたコンピュータのインストールディレクトリの下の「MEASURELOG」ディレクトリにある、「*.VLG」ファイルに出力されます。

■計測ログが表示可能なアイコンは、以下のアイコンです。
・小型単相 UPS アイコン

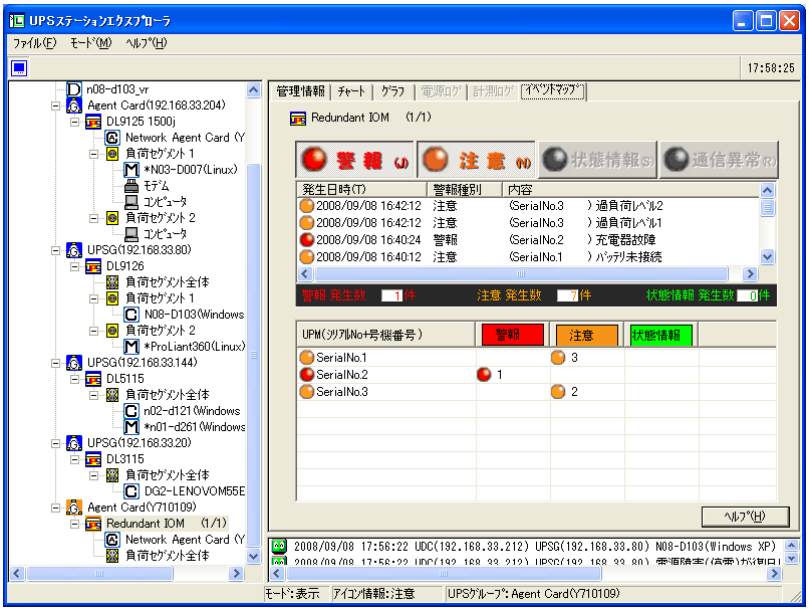
注意事項

※接点方式インタフェースの小型単相 UPS では、グラフ表示可能な計測値情報はありません。電源障害発生期間のみ表示できます。

※バッテリ電圧は、使用環境(負荷条件、温度、使用回数、充電状態など)により実際の値と異なる場合があります。

イベントマップ

UPS ステーションエクスプローラ画面が表示モードの状態で、「イベントマップ」タブを選択すると表示されます。



［イベントマップ画面例］

【機能】

■発生している全警報情報の表示（上部）と各 UPM で発生している警報数（下部）を表示します。

【操作】

機能名称	動作概要	ショートカットキー
警報ボタン	警報イベントの表示／非表示を切り替えます。	Alt + J
注意ボタン	注意イベントの表示／非表示を切り替えます。	Alt + N
状態情報ボタン	状態情報の表示／非表示を切り替えます。	Alt + S
通信異常ボタン	通信異常情報の表示／非表示を切り替えます。	Alt + R
発生日時ヘッダボタン	発生日時の新しい順、古い順に並べ替え表示します。	Alt + T
警報種別ヘッダボタン	警報種別順に並べ替え表示します。	Alt + L
ヘルプボタン	ヘルプ画面を表示します。	Alt + H
キー入力（フォーカス）	各入力項目、ボタンへ順にフォーカス移動します。	Tab

【説明】

■リスト内のアイコンの色は警報種別を表します。

・警報・・・・・・赤色アイコン

・注意・・・・・・赤黄色アイコン

・状態情報・・緑色アイコン

・通信異常・・灰青色アイコン

■各ボタンは該当イベントが発生していない時は無効になり、発生した時点で有効になります。
各ボタンの有効時には、表示内容の表示非表示切り替えが可能です。

■発生日時、警報種別で並べ替えが可能です。

■警報種別ごとの警報発生件数を警報情報表示の下部に表示します。

［警報情報表示の下部］

■各 UPM の警報種別ごとの警報発生件数をイベントマップ画面下部に表示します。

［イベントマップ画面下部］

■イベントマップが表示可能なアイコンは、以下のアイコンです。

・DL9126-RAPS　シリーズの UPS アイコン

注意事項

※イベントが０件の時は以下の色のアイコンとコメントを表示します。

・イベント０件時　・・・青灰色アイコン、「現在、通知情報はありません。」

※警報情報表示の下部に表示される警報種別ごとの警報発生件数には、IOM の警報も含まれるため、各 UPM で発生している警報の合計した件数と一致しないことがあります。

※UPM の表示順は、号機番号またはシリアル番号の昇順で表示されます。

設定モード

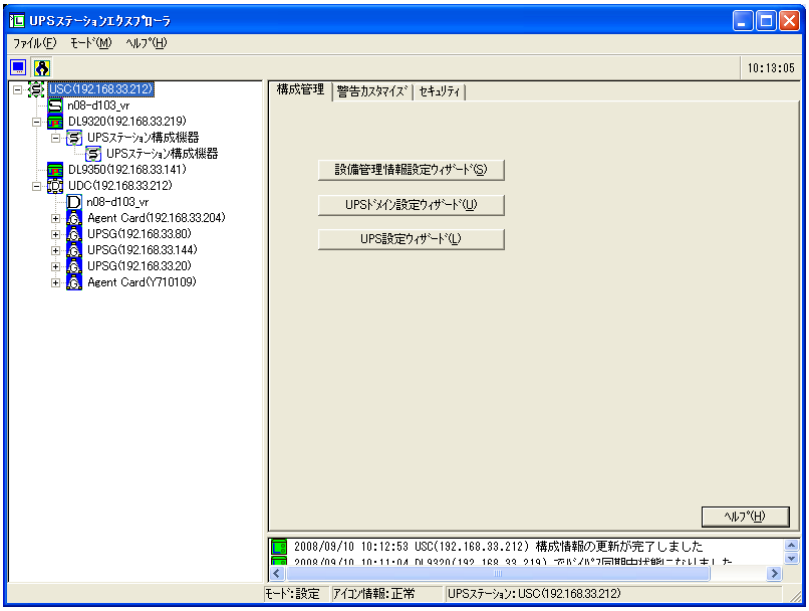
■UPS ステーションエクスプローラ画面の「モード」メニューから、「設定」を選択するか、ツールバー上の ボタンを選択すると設定モードになります。
設定モードを表示可能にするには、アクセスコード入力が必要です。詳しくは『UPS ステーションエクスプローラの起動』の項を参照してください。

■構成管理情報の設定や、警報発生時のメール通知等の設定をします。

設定モードにおける、各タブメニューの操作説明を以下に記述します。

構成管理

UPS ステーションエクスプローラ画面が設定モードの状態で「構成管理」タブを選択すると表示されます。



［構成管理画面］

【機能】

■設備管理情報の登録/変更/削除/移動を行います。

■UPS ドメインの登録/変更/削除を行います。

■中・大型 3 相 UPS 及び関連装置の登録/削除を行います。

【操作】

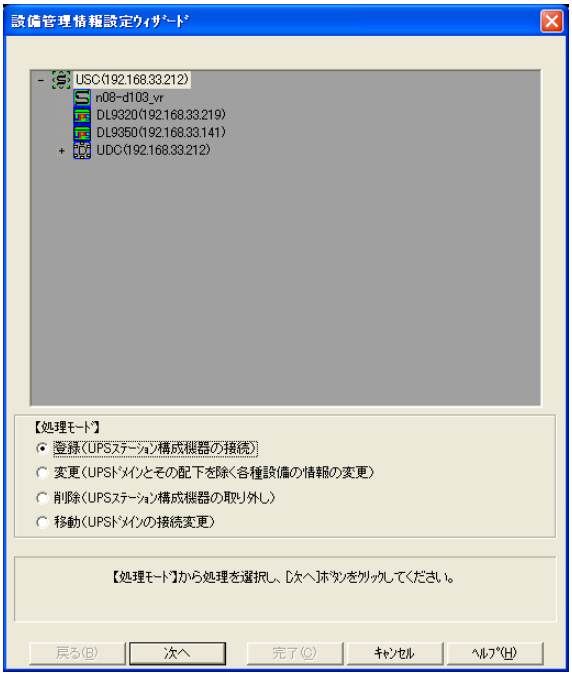
機能名称	動作概要	ショートカットキー
設備管理情報 設定ウィザード 起動ボタン	設備管理情報の登録/変更/削除/移動を行うウィザードを起動します。	Alt + S
UPS ドメイン 設定ウィザード 起動ボタン	UPS ドメインの登録/変更/削除を行うウィザードを起動します。	Alt + U
UPS 設定 ウィザード 起動ボタン	中・大型 3 相 UPS 及び関連装置の登録/削除を行うウィザードを起動します。	Alt + L
ヘルプボタン	ヘルプ画面を表示します。	Alt + H
キー入力	各項目へフォーカス移動します。	Tab

【説明】

■設備管理情報の登録

1．UPS ステーション構成機器を登録する場合、設備管理情報設定ウィザードボタンをクリックしてください。

2．処理モードを選択するダイアログが表示されます。「登録（UPS ステーション構成機器の接続）」をチェックし、［次へ］ボタンをクリックしてください。



「処理モード選択画面（設定前）例」

【機能】

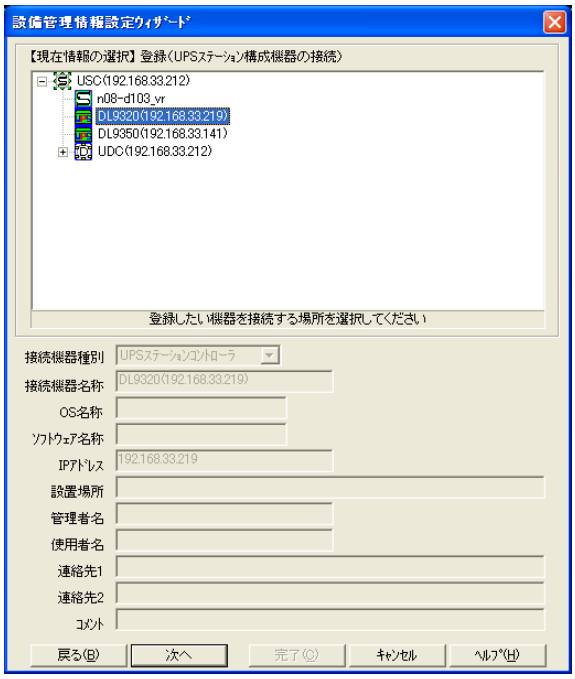
■設備管理情報設定の処理モード（登録/変更/削除/移動）を選択します。

【操作】

機能名称	動作概要	ショートカットキー
登録ラジオボタン	新たにUPS ステーション構成機器の登録を行う場合に選択します。	無し
変更ラジオボタン	UPS ドメインとその配下を除く各種設備情報の変更を行う場合に選択します。	無し
削除ラジオボタン	現在登録されているUPS ステーション構成機器の削除を行う場合に選択します。	無し
移動ラジオボタン	現在登録されているUPS ドメインの接続位置を移動する場合に選択します。	無し
戻るボタン	処理モード選択画面では選択できません。	Alt + B
次へボタン（既定のボタン）	次の画面に進みます。	無し
完了ボタン	設備管理情報の設定内容を保存してウィザードを閉じます。処理モード選択画面（設定前）では選択できません。	Alt + C
キャンセルボタン	設備管理情報の設定内容を破棄しウィザードを閉じます。	無し
ヘルプボタン	ヘルプ画面を表示します。	Alt + H
キー入力（フォーカス）	各入力項目、ボタンへ順にフォーカス移動します。	Tab

表示名称	表示内容
ツリー表示	現在の UPS ステーション構成をツリー表示します。 ※アイコンの選択は行えません。
操作説明メッセージ	【処理モード選択画面】の操作説明を表示します。

3．登録位置を選択するダイアログが表示されます。上部に表示されたツリー表示にて、登録したい位置を選択し、［次へ］ボタンをクリックしてください。



「登録位置選択画面例」

【機能】

■UPS ステーション構成機器の登録位置を選択します。

【操作】

機能名称	動作概要	ショートカットキー
ツリー表示	UPS ステーション構成機器を登録する位置を選択します。	無し
戻るボタン	処理モード選択画面に戻ります。	Alt + B
次へボタン（既定のボタン）	次の画面に進みます。	無し
完了ボタン	登録位置選択画面では選択できません。	Alt + C
キャンセルボタン	設備管理情報の設定内容を破棄しウィザードを閉じます。	無し
ヘルプボタン	ヘルプ画面を表示します。	Alt + H
キー入力（フォーカス）	各入力項目、ボタンへ順にフォーカス移動します。 ツリー選択時は矢印キーを使って項目の移動をします。	Tab

【説明】

■UPS（単機）及び保守バイパス盤／入出力盤のツリーアイコンが選択された場合、UPS（単機）及び保守バイパス盤／入出力盤から１段下の一番下の位置に登録されます。

■UPS（単機）及び保守バイパス盤／入出力盤から１段下には UPS ステーション構成機器と UPS ドメイン合わせて最大６４個の UPS ステーション構成機器と UPS ドメインが登録可能です。

■UPS（単機）及び保守バイパス盤／入出力盤から１段下の UPS ステーション構成機器のツリーアイコンが選択された場合、UPS（単機）及び保守バイパス盤／入出力盤から２段下の一番上の位置に登録されます。

■UPS（単機）及び保守バイパス盤／入出力盤から２段下の UPS ステーション構成機器のツリーアイコンが選択された場合、UPS（単機）から２段下の選択されたツリーアイコンの次の位置に登録されます。

■UPS（単機）及び保守バイパス盤／入出力盤から２段下には UPS ステーション構成機器と UPS ドメイン合わせて最大１２８個の UPS ステーション構成機器と UPS ドメインが登録可能です。

■次のような位置には登録できません。

・UPS（並列）
・UPS ステーション名から１段下の位置
・UPS ステーションコントローラから１段下の位置
・UPS（単機）、保守バイパス盤／入出力盤及び UPS（並列）から３段下の位置
・UPS ドメインの配下の位置

４．設備管理情報を入力するダイアログが表示されます。各設備管理情報入力欄に必要な内容を入力し、［登録］ボタンをクリックしてください。

「設備管理情報入力画面例」

【機能】

■登録する UPS ステーション構成機器の設備管理情報を入力し、登録する UPS ステーション構成機器の設備管理情報を仮登録します。

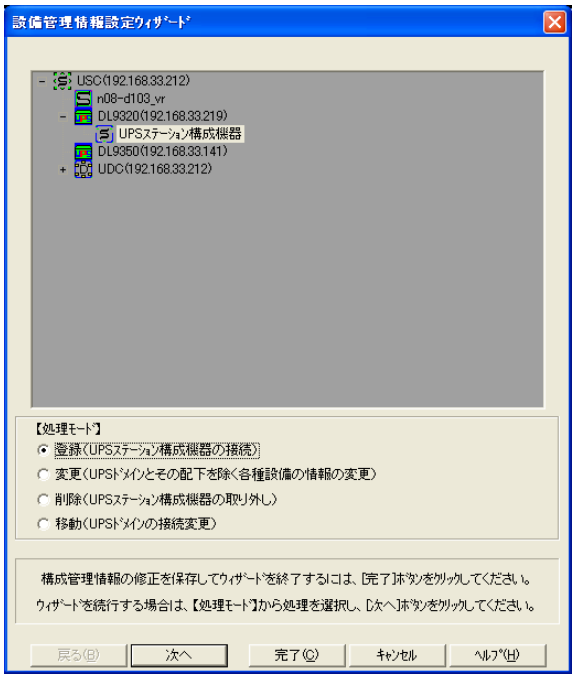
【操作】

機能名称	動作概要	ショートカットキー
接続機器種別 コンボボックス	接続機器種別は変更できません。	無し
接続機器名称	接続機器名称を入力します。(半角 49 文字以内)	無し
ＯＳ名称	ＯＳ名称を入力します。(半角 24 文字以内)	無し
ソフトウェア名称	ソフトウェア名称を入力します。(半角 24 文字以内)	無し
ＩＰアドレス	ＩＰアドレスを入力します。(半角 31 文字以内)	無し
設置場所	設置場所を入力します。(半角 63 文字以内)	無し
管理者名	管理者名を入力します。(半角 31 文字以内)	無し
使用者名	使用者名を入力します。(半角 31 文字以内)	無し
連絡先１	連絡先１を入力します。(半角 63 文字以内)	無し
連絡先２	連絡先２を入力します。(半角 63 文字以内)	無し
コメント	コメントを入力します。(半角 63 文字以内)	無し
戻るボタン	登録位置選択画面に戻ります。	Alt + B
登録ボタン（既定のボタン）	登録内容を仮登録し、処理モード選択画面（設定後）を表示します。	無し
完了ボタン	設備管理情報入力画面では選択できません。	Alt + C
キャンセルボタン	設備管理情報の設定内容を破棄しウィザードを閉じます。	無し
ヘルプボタン	ヘルプ画面を表示します。	Alt + H
キー入力（フォーカス）	各入力項目、ボタンへ順にフォーカス移動します。	Tab

【説明】

■UPS ステーション構成機器ごとに各設備管理情報を仮登録することができます。

５．処理モードを選択するダイアログが表示されます。仮登録した内容を保存してウィザードを終了する場合は、[完了]ボタンをクリックしてください。続けて行う場合は作業したい処理モードをチェックし、[次へ]ボタンをクリックしてください。



「処理モード選択画面（設定後）例」

【機能】

■設備管理情報設定の処理モード（登録/変更/削除/移動）を選択します。

【操作】

■「設備管理情報の登録」の「２.」を参照してください。

【説明】

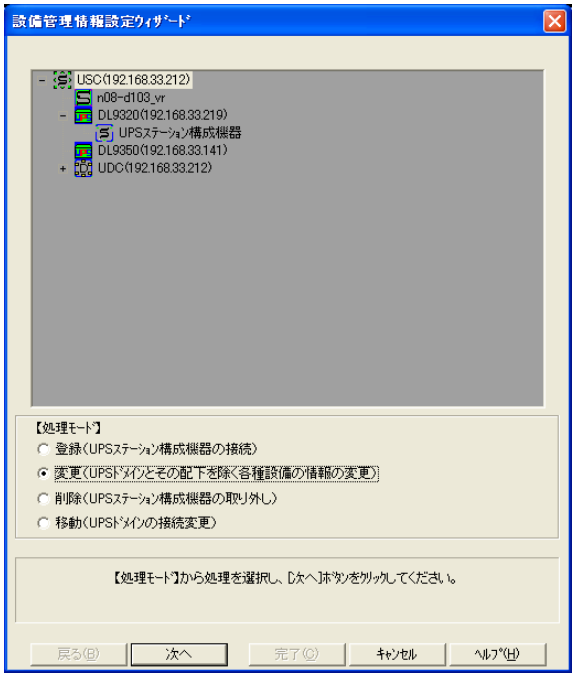
■ツリー表示にて登録したUPSステーション構成機器を確認することができます。

■登録/変更/削除/移動作業を続けて行うことができます。

■設備管理情報の変更

1．UPS ステーション構成の設備管理情報を変更する場合、設備管理情報設定ウィザードボタンをクリックしてください。

2．処理モードを選択するダイアログが表示されます。「変更 (UPS ドメインとその配下を除く各種設備の情報の変更)」をチェックし、［次へ］ボタンをクリックしてください。



「処理モード選択画面（設定前）例」

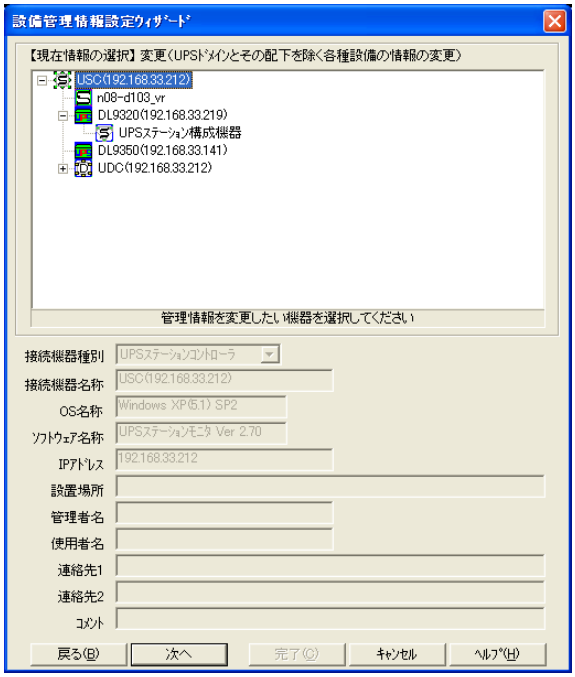
【機能】

■設備管理情報設定の処理モード（登録/変更/削除/移動）を選択します。

【操作】

■「設備管理情報の登録」の「２.」を参照してください。

3．変更したいツリーアイコンを選択するダイアログが表示されます。上部に表示されたツリー表示にて、変更したいツリーアイコンを選択し、［次へ］ボタンをクリックしてください。



「変更ツリーアイコン選択画面例」

【機能】

■設備管理情報を変更したいツリーアイコンを選択します。

【操作】

機能名称	動作概要	ショートカットキー
ツリー表示	設備管理情報を変更したいツリーアイコンを選択します。	無し
戻るボタン	処理モード選択画面に戻ります。	Alt + B
次へボタン（既定のボタン）	次の画面に進みます。	無し
完了ボタン	変更ツリーアイコン選択画面では選択できません。	Alt + C
キャンセルボタン	設備管理情報の設定内容を破棄しウィザードを閉じます。	無し
ヘルプボタン	ヘルプ画面を表示します。	Alt + H
キー入力（フォーカス）	各入力項目、ボタンへ順にフォーカス移動します。ツリー選択時は矢印キーを使って項目の移動をします。	Tab

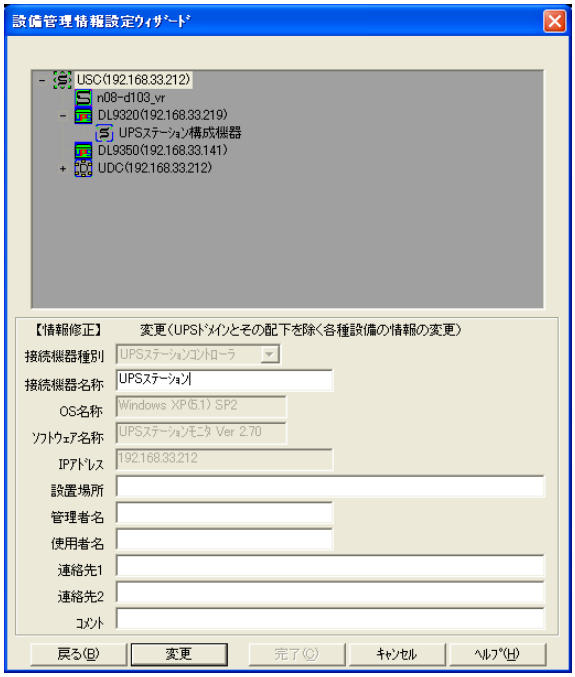
【説明】

■選択したツリーアイコンの設備管理情報が変更できます。

■次の接続機器種別の設備管理情報は変更できません。

・UPS ドメインとその配下

4．設備管理情報を入力するダイアログが表示されます。各設備管理情報入力欄に変更内容を入力し、［変更］ボタンをクリックしてください。



「設備管理情報入力画面例」

【機能】

■変更する UPS ステーション構成機器の設備管理情報を入力し、変更した UPS ステーション機器管理情報を仮変更します。

【操作】

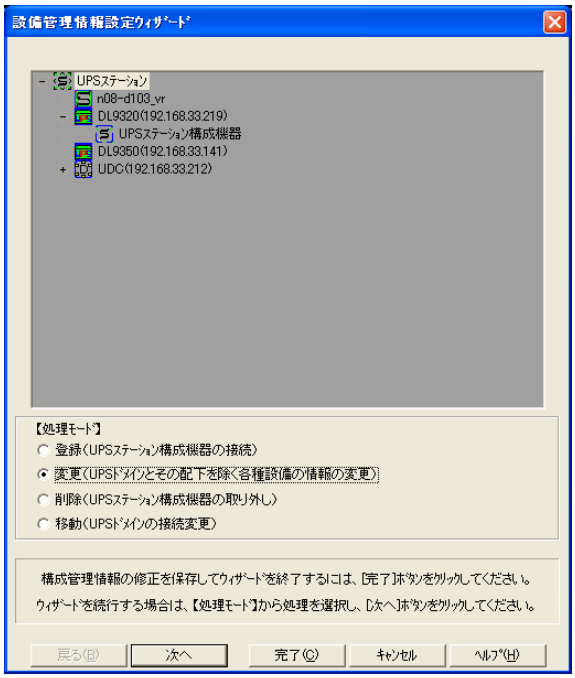
機能名称	動作概要	ショートカットキー
接続機器種別 コンボボックス	接続機器種別は変更できません。	無し
接続機器名称	接続機器名称を入力します。（半角 49 文字以内）	無し
ＯＳ名称	ＯＳ名称を入力します。（半角 24 文字以内）	無し
ソフトウェア名称	ソフトウェア名称を入力します。(半角 24 文字以内)	無し
ＩＰアドレス	ＩＰアドレスを入力します。（半角 31 文字以内）	無し
設置場所	設置場所を入力します。（半角 63 文字以内）	無し
管理者名	管理者名を入力します。（半角 31 文字以内）	無し
使用者名	使用者名を入力します。（半角 31 文字以内）	無し
連絡先１	連絡先１を入力します。（半角 63 文字以内）	無し
連絡先２	連絡先２を入力します。（半角 63 文字以内）	無し
コメント	コメントを入力します。（半角 63 文字以内）	無し
戻るボタン	変更ツリーアイコン選択画面に戻ります。	Alt ＋ B
変更ボタン（既定のボタン）	変更内容を仮変更し、処理モード選択画面（設定後）を表示します。	無し
完了ボタン	設備管理情報入力画面では選択できません。	Alt ＋ C
キャンセルボタン	設備管理情報の設定内容を破棄しウィザードを閉じます。	無し
ヘルプボタン	ヘルプ画面を表示します。	Alt ＋ H
キー入力（フォーカス）	各入力項目、ボタンへ順にフォーカス移動します。	Tab

【説明】

■選択したツリーアイコンの各設備管理情報を変更することができます。

■変更不可の項目にはフォーカスが移動せず、内容の変更はできません。

5．処理モードを選択するダイアログが表示されます。変更した内容を保存してウィザードを終了する場合は、［完了］ボタンをクリックしてください。続けて行う場合は作業したい処理モードをチェックし、［次へ］ボタンをクリックしてください。



「処理モード選択画面（設定後）例」

【機能】

■設備管理情報設定の処理モード（登録/変更/削除/移動）を選択します。

【操作】

■「設備管理情報の登録」の「２.」を参照してください。

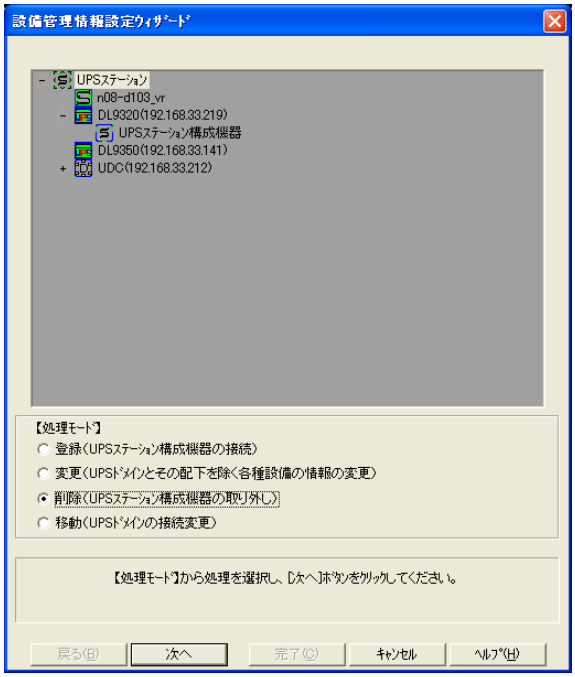
【説明】

■登録/変更/削除/移動作業を続けて行うことができます。

■設備管理情報の削除

1．UPS ステーション構成の設備管理情報を削除する場合、設備管理情報設定ウィザードボタンをクリックしてください。

2．処理モードを選択するダイアログが表示されます。「削除（UPS ステーション構成機器の取り外し）」をチェックし、［次へ］ボタンをクリックしてください。



「処理モード選択画面（設定前）例」

【機能】

■設備管理情報設定の処理モード（登録/変更/削除/移動）を選択します。

【操作】

■「設備管理情報の登録」の「２.」を参照してください。

3．削除したいツリーアイコンを選択するダイアログが表示されます。上部に表示されたツリー表示にて、削除したいツリーアイコンを選択し、[削除] ボタンをクリックしてください。

「削除ツリーアイコン選択画面例」

【機能】

■設備管理情報を削除したいツリーアイコンを選択し、設備管理情報を仮削除します。

【操作】

機能名称	動作概要	ショートカットキー
ツリー表示	設備管理情報を削除したいツリーアイコンを選択します。	無し
戻るボタン	処理モード選択画面に戻ります。	Alt + B
削除ボタン（既定のボタン）	仮削除し、処理モード選択画面（設定後）を表示します。	無し
完了ボタン	削除ツリーアイコン選択画面では選択できません。	Alt + C
キャンセルボタン	設備管理情報の設定内容を破棄しウィザードを閉じます。	無し
ヘルプボタン	ヘルプ画面を表示します。	Alt + H
キー入力（フォーカス）	各入力項目、ボタンへ順にフォーカス移動します。ツリー選択時は矢印キーを使って項目の移動をします。	Tab

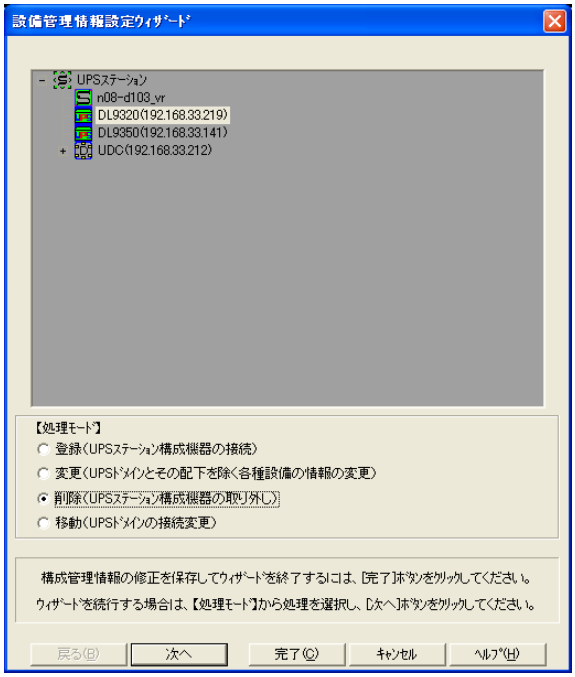
【説明】

■選択したツリーアイコンの設備管理情報が削除できます。

■削除できるアイコンは、以下のアイコンです。

・UPS ステーション構成機器アイコン

4．処理モードを選択するダイアログが表示されます。削除した状態を保存してウィザードを終了する場合は、［完了］ボタンをクリックしてください。続けて行う場合は作業したい処理モードをチェックし、［次へ］ボタンをクリックしてください。



「処理モード選択画面（設定後）例」

【機能】

■設備管理情報設定の処理モード（登録/変更/削除/移動）を選択します。

【操作】

■「設備管理情報の登録」の「２.」を参照してください。

【説明】

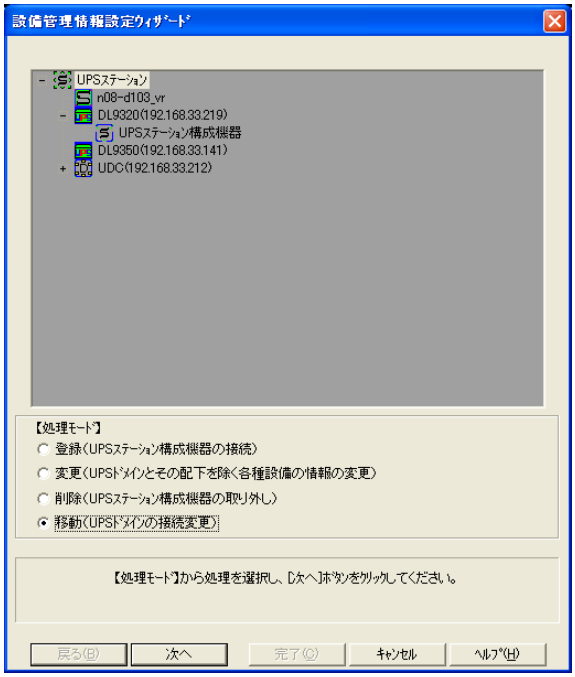
■ツリー表示にて UPS ステーション構成機器の削除を確認することができます。

■登録/変更/削除/移動作業を続けて行うことができます。

■設備管理情報の移動

1．UPS ドメインの接続位置を移動する場合、設備管理情報設定ウィザードボタンをクリックしてください。

2．処理モードを選択するダイアログが表示されます。「移動（UPS ドメインの接続変更）」をチェックし、［次へ］ボタンをクリックしてください。



「処理モード選択画面（設定前）例」

【機能】

■設備管理情報設定の処理モード（登録/変更/削除/移動）を選択します。

【操作】

■「設備管理情報の登録」の「２.」を参照してください。

3．移動したいツリーアイコンを選択するダイアログが表示されます。上部に表示されたツリー表示にて、移動したいツリーアイコンを選択し、［次へ］ボタンをクリックしてください。

「移動ツリーアイコン選択画面例」

【機能】

■接続位置を変更したいツリーアイコンを選択します。

【操作】

機能名称	動作概要	ショートカットキー
ツリー表示	設備管理情報の接続位置を変更したいツリーアイコンを選択します。	無し
戻るボタン	処理モード選択画面に戻ります。	Alt + B
次へボタン（既定のボタン）	次の画面に進みます。	無し
完了ボタン	移動ツリーアイコン選択画面では選択できません。	Alt + C
キャンセルボタン	設備管理情報の設定内容を破棄しウィザードを閉じます。	無し
ヘルプボタン	ヘルプ画面を表示します。	Alt + H
キー入力（フォーカス）	各入力項目、ボタンへ順にフォーカス移動します。ツリー選択時は矢印キーを使って項目の移動をします。	Tab

【説明】

■選択したツリーアイコンの接続位置の移動ができます。

■移動できるアイコンは、以下のアイコンです。

・UPS ドメインアイコン

4．移動先のツリーアイコンを選択するダイアログが表示されます。上部に表示されたツリー表示にて、移動先のツリーアイコンを選択し、［移動］ボタンをクリックしてください。

「移動先ツリーアイコン選択画面例」

【機能】

■３．の移動ツリーアイコン選択画面で選択したツリーアイコンを移動先として選択された接続位置へ仮移動します。

【操作】

機能名称	動作概要	ショートカットキー
ツリー表示	移動先のリーアイコンを選択します。	無し
戻るボタン	移動ツリーアイコン選択画面に戻ります。	Alt + B
移動ボタン（既定のボタン）	仮移動し、処理モード選択画面（設定後）を表示します。	無し
完了ボタン	移動先ツリーアイコン選択画面では選択できません。	Alt + C
キャンセルボタン	設備管理情報の設定内容を破棄しウィザードを閉じます。	無し
ヘルプボタン	ヘルプ画面を表示します。	Alt + H
キー入力（フォーカス）	各入力項目、ボタンへ順にフォーカス移動します。ツリー選択時は矢印キーを使って項目の移動をします。	Tab

【説明】

■UPS ステーション名のアイコンが移動先として選択された場合、UPS ステーション名から 1 段下に移動されます。

■UPS（単機）及び保守バイパス盤／入出力盤のツリーアイコンが移動先として選択された場合、UPS（単機）及び保守バイパス盤／入出力盤から１段下に移動されます。

■UPS（単機）及び保守バイパス盤／入出力盤から１段下には UPS ステーション構成機器と UPS ドメイン合わせて最大６４個の UPS ステーション構成機器と UPS ドメインが接続可能です。

■UPS（単機）及び保守バイパス盤／入出力盤から１段下の UPS ステーション構成機器のツリーアイコンが移動先として選択された場合、UPS（単機）及び保守バイパス盤／入出力盤から２段下に移動されます。

■UPS（単機）及び保守バイパス盤／入出力盤から２段下には UPS ステーション構成機器と UPS ドメイン合わせて最大１２８個の UPS ステーション構成機器と UPS ドメインが接続可能です。

■UPS（単機）及び保守バイパス盤／入出力盤から２段下の UPS ステーション構成機器のツリーアイコンが移動先として選択された場合、UPS（単機）から３段下に移動されます。

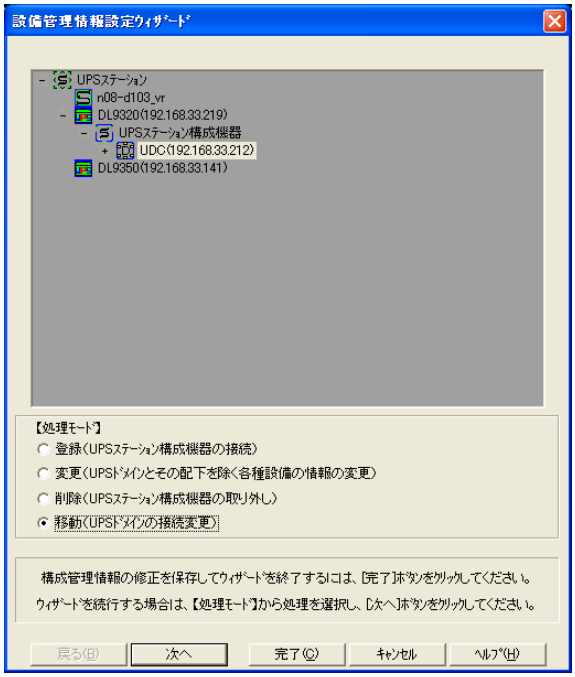
■UPS（単機）及び保守バイパス盤／入出力盤から３段下には最大１０個の UPS ドメインが登録可能です。

■UPS ドメインのツリーアイコンが移動先として選択された場合、移動先として選択された UPS ドメインと同じ段に移動されます。

■次のような位置には移動できません。

・UPS（並列）
・UPS ステーションコントローラの一段下の位置
・UPS ドメインの一段下の位置
・移動する UPS ドメインが登録されている配下内で、配下の最大数が接続されている位置

５．処理モードを選択するダイアログが表示されます。移動した状態を保存してウィザードを終了する場合は、［完了］ボタンをクリックしてください。続けて行う場合は作業したい処理モードをチェックし、［次へ］ボタンをクリックしてください。



「処理モード選択画面（設定後）例」

【機能】

■設備管理情報設定の処理モード（登録/変更/削除/移動）を選択します。

【操作】

■「設備管理情報の登録」の「２.」を参照してください。

【説明】

■ツリー表示にてUPSドメインの接続位置の移動を確認することができます。

■登録/変更/削除/移動作業を続けて行うことができます。

■UPS ドメインの登録

1．UPS ドメインを登録する場合、UPS ドメイン設定ウィザードボタンをクリックしてください。

2．処理モードを選択するダイアログが表示されます。「登録（上位構成ノードに入れる）」をチェックし、［次へ］ボタンをクリックしてください。

「処理モード選択画面（設定前）例」

【機能】

■UPS ドメイン設定の処理モード（登録/変更/削除）を選択します。

【操作】

機能名称	動作概要	ショートカットキー
登録ラジオボタン	UPS ステーションに新たに UPS ドメインの登録を行う場合に選択します。	無し
変更ラジオボタン	UPS ステーションへの UPS ドメインの警報通知レベルの変更を行う場合に選択します。	無し
削除ラジオボタン	現在 UPS ステーションに登録されている UPS ドメインの削除を行う場合に選択します。	無し
戻るボタン	処理モード選択画面では選択できません。	Alt + B
次へボタン（既定のボタン）	次の画面に進みます。	無し
完了ボタン	ウィザードを閉じます。処理モード選択画面（設定前）では選択できません。	Alt + C
キャンセルボタン	ウィザードを閉じます。	無し
ヘルプボタン	ヘルプ画面を表示します。	Alt + H
キー入力（フォーカス）	各入力項目、ボタンへ順にフォーカス移動します。	Tab

表示名称	表示内容
ツリー表示	現在のステーション構成をツリー表示します。 ※アイコンの選択は行えません。
操作説明メッセージ	【処理モード選択画面】の操作説明を表示します。

【説明】

■UPS ドメインは最大６４個登録できます。

３．登録する UPS ドメインを検索するためのＩＰアドレスとポート番号指定方法とポート番号の入力するダイアログが表示されます。登録する UPS ドメインを検索するためのＩＰアドレスとポート番号指定方法、ポート番号を指定するときはポート番号を入力し［次へ］ボタンをクリックしてください。

「ＩＰアドレス・ポート番号入力画面例」

【機能】

■入力されたＩＰアドレスとポート番号指定方法とポート番号より、UPS ドメインを検索します。

【操作】

機能名称	動作概要	ショートカットキー
ＩＰアドレス	登録する UPS ドメインが動作しているコンピュータのＩＰアドレスを入力します。	無し
ポート指定	登録する UPS ドメインが動作しているコンピュータで UPS ドメインモニタが開いている通信ポート番号の検索方法を選択します。 ・デフォルト値を使用するラジオボタン ・全てのポートをスキャンするラジオボタン ・指定するラジオボタン	無し
ポート番号	登録する UPS ドメインが動作しているコンピュータで UPS ドメインモニタが開いている通信ポート番号を入力します。指定するラジオボタンが選択されたときのみ入力できます。	無し
戻るボタン	処理モード選択画面に戻ります。	Alt + B
次へボタン（既定のボタン）	次の画面に進みます。	無し
完了ボタン	ＩＰアドレス・ポート番号入力画面では選択できません。	Alt + C
キャンセルボタン	UPS ドメインの登録を破棄しウィザードを閉じます。	無し
ヘルプボタン	ヘルプ画面を表示します。	Alt + H
キー入力（フォーカス）	各入力項目、ボタンへ順にフォーカス移動します。	Tab

【説明】

■次のような時には登録できません。

・入力されたＩＰアドレス・ポート番号の UPS ドメインが無いか動作していない

・入力されたＩＰアドレス・ポート番号の UPS ドメインが UPS ステーションに登録済み

4．UPS ドメインの警報通知レベルを入力するダイアログが表示されます。警報通知レベルを選択し、［登録］ボタンをクリックしてください。

「警報通知レベル選択画面例」

【機能】

■登録する UPS ドメインの警報通知レベルを選択し、UPS ステーションモニタへ UPS ドメイン登録情報を送信します。

【操作】

機能名称	動作概要	ショートカットキー
警報通知レベル選択	UPS ステーションに登録する UPS ドメインで発生したイベント・状態変更を通知するレベルを選択します。 ・通知しないラジオボタン イベント・状態変更を通知しません。 ・全ての情報ラジオボタン 全てのイベント・状態変更を通知します。 ・注意以上ラジオボタン 注意イベント以上のイベントを通知します。 ・警報ラジオボタン 警報イベントのみを通知します。	無し
戻るボタン	ＩＰアドレス・ポート番号入力画面に戻ります。	Alt + B
登録ボタン（既定のボタン）	登録内容を UPS ステーションモニタへ送信し、処理モード選択画面（設定後）を表示します。	無し
完了ボタン	警報通知レベル選択画面では選択できません。	Alt + C
キャンセルボタン	UPS ドメインの登録を破棄しウィザードを閉じます。	無し
ヘルプボタン	ヘルプ画面を表示します。	Alt + H
キー入力（フォーカス）	各入力項目、ボタンへ順にフォーカス移動します。	Tab

【説明】

■UPS ドメインから通知されるイベントの通知レベルを設定することができます。尚、通知レベルは後からでも変更することが可能です。詳しくは『「UPS ドメイン設定ウィザード」の「UPS ドメインの警報通知レベルの変更」』の項を参照してください。

■「３.」で指定したＩＰアドレス・ポート番号の UPS ドメインを登録します。

５．処理モードを選択するダイアログが表示されます。ウィザードを終了する場合は、［完了］ボタンをクリックしてください。続けて行う場合は作業したい処理モードをチェックし、［次へ］ボタンをクリックしてください。

「処理モード選択画面（設定後）例」

【機能】

■UPS ドメイン設定の処理モード（登録/変更/削除）を選択します。

【操作】

■「UPS ドメインの登録」の「２.」を参照してください。

【説明】

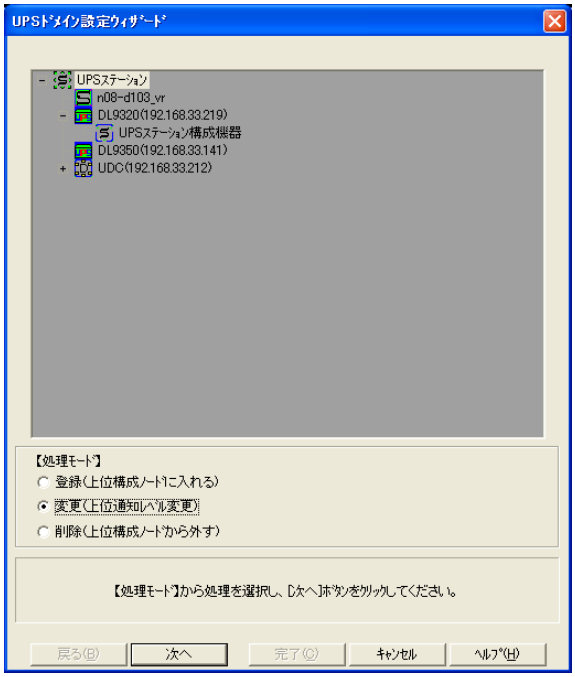
■ツリー表示にて登録した UPS ドメインを確認することができます。

■登録/変更/削除作業を続けて行うことができます。

■UPS ドメインの警報通知レベルの変更

1．UPS ドメインの警報通知レベルを変更する場合、UPS ドメイン設定ウィザードボタンをクリックしてください。

2．処理モードを選択するダイアログが表示されます。「変更（上位通知レベル変更)」をチェックし、[次へ]ボタンをクリックしてください。



「処理モード選択画面（設定前）例」

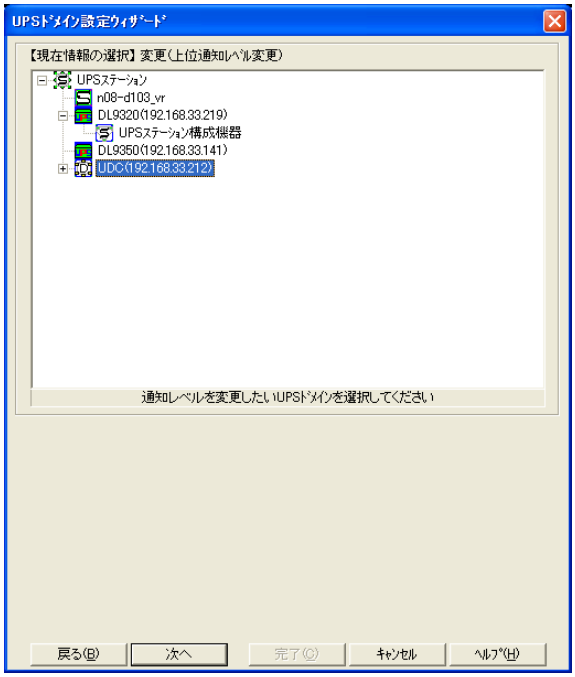
【機能】

■UPS ドメイン設定の処理モード（登録/変更/削除）を選択します。

【操作】

■「UPS ドメインの登録」の「２.」を参照してください。

3．変更したいツリーアイコンを選択するダイアログが表示されます。上部に表示されたツリー表示にて、変更したいツリーアイコンを選択し、［次へ］ボタンをクリックしてください。



「変更ツリーアイコン選択画面例」

【機能】

■警報通知レベルを変更したいツリーアイコンを選択します。

【操作】

機能名称	動作概要	ショートカットキー
ツリー表示	警報通知レベルを変更したいツリーアイコンを選択します。	無し
戻るボタン	処理モード選択画面に戻ります。	Alt + B
次へボタン（既定のボタン）	次の画面に進みます。	無し
完了ボタン	変更ツリーアイコン選択画面では選択できません。	Alt + C
キャンセルボタン	UPS ドメインの警報通知レベルの変更を破棄しウィザードを閉じます。	無し
ヘルプボタン	ヘルプ画面を表示します。	Alt + H
キー入力（フォーカス）	各入力項目、ボタンへ順にフォーカス移動します。ツリー選択時は矢印キーを使って項目の移動をします。	Tab

【説明】

■選択したツリーアイコンの警報通知レベルが変更できます。

4．UPS ドメインの警報通知レベルを入力するダイアログが表示されます。警報通知レベルを選択し、［変更］ボタンをクリックしてください。

「警報通知レベル選択画面例」

【機能】

■変更する UPS ドメインの警報通知レベルを選択し、UPS ステーションモニタへ UPS ドメイン変更情報を送信します。

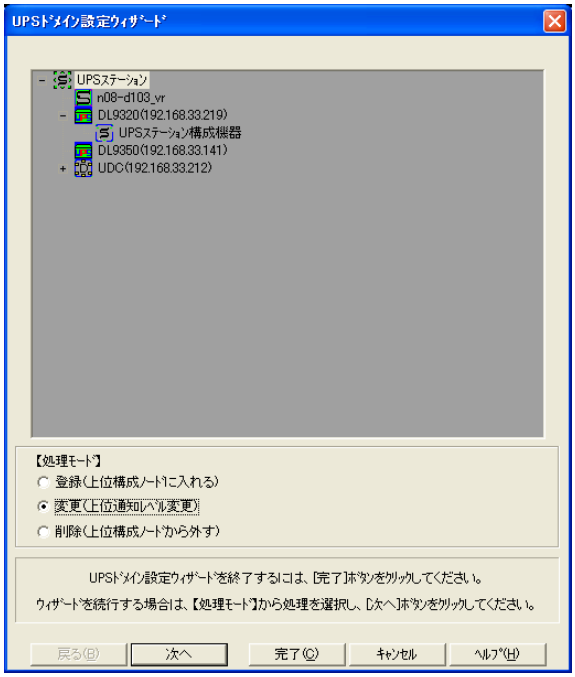
【操作】

機能名称	動作概要	ショートカットキー
警報通知レベル選択	UPS ステーションに変更する UPS ドメインで発生したイベント・状態変更を通知するレベルを選択します。 ・通知しないラジオボタン イベント・状態変更を通知しません。 ・全ての情報ラジオボタン 全てのイベント・状態変更を通知します。 ・注意以上ラジオボタン 注意イベント以上のイベントを通知します。 ・警報ラジオボタン 警報イベントのみを通知します。	無し
戻るボタン	変更ツリーアイコン選択画面に戻ります。	Alt + B
変更ボタン（既定のボタン）	変更内容を UPS ステーションモニタへ送信し、処理モード選択画面（設定後）を表示します。	無し
完了ボタン	警報通知レベル選択画面では選択できません。	Alt + C
キャンセルボタン	UPS ドメインの警報通知レベルの変更を破棄しウィザードを閉じます。	無し
ヘルプボタン	ヘルプ画面を表示します。	Alt + H
キー入力（フォーカス）	各入力項目、ボタンへ順にフォーカス移動します。	Tab

【説明】

■UPS ドメインの警報通知レベルを変更することができます。

５．処理モードを選択するダイアログが表示されます。ウィザードを終了する場合は、［完了］ボタンをクリックしてください。続けて行う場合は作業したい処理モードをチェックし、［次へ］ボタンをクリックしてください。



「処理モード選択画面（設定後）例」

【機能】

■UPS ドメイン設定の処理モード（登録/変更/削除）を選択します。

【操作】

■「UPS ドメインの登録」の「２.」を参照してください。

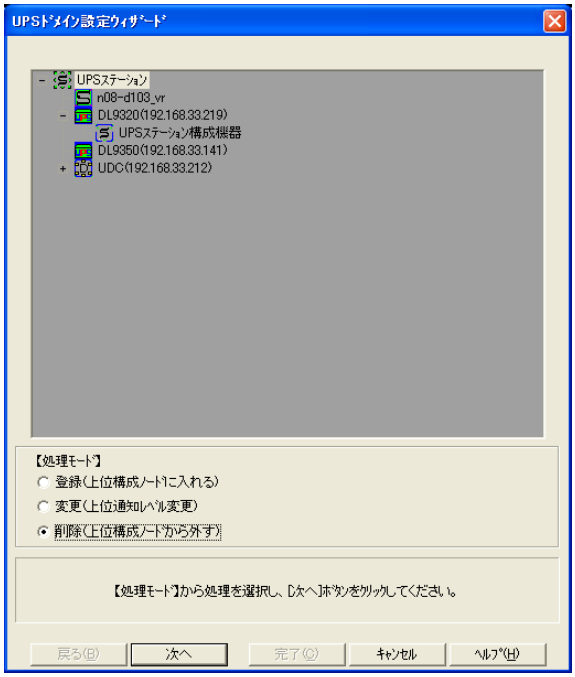
【説明】

■登録/変更/削除作業を続けて行うことができます。

■UPS ドメインの削除

1．UPS ドメインを削除する場合、UPS ドメイン設定ウィザードボタンをクリックしてください。

2．処理モードを選択するダイアログが表示されます。「削除（上位構成ノードから外す）」をチェックし、［次へ］ボタンをクリックしてください。



「処理モード選択画面（設定前）例」

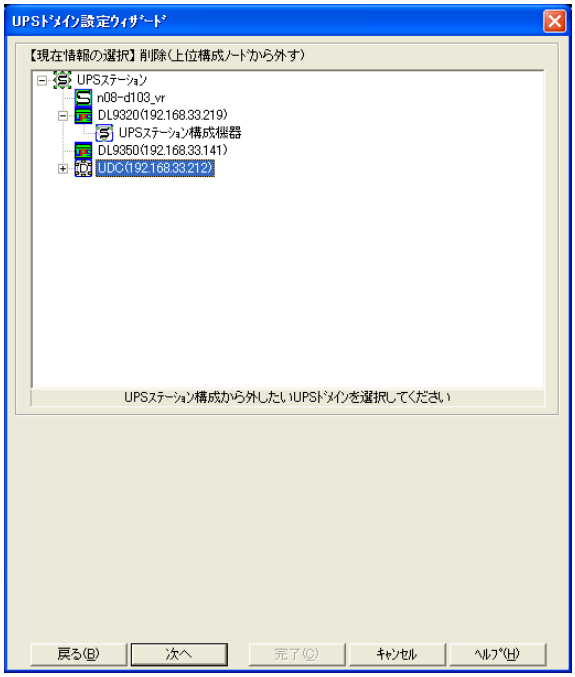
【機能】

■UPS ドメイン設定の処理モード（登録/変更/削除）を選択します。

【操作】

■「UPS ドメインの登録」の「２.」を参照してください。

3．削除したいツリーアイコンを選択するダイアログが表示されます。上部に表示されたツリー表示にて、削除したいツリーアイコンを選択し、［次へ］ボタンをクリックしてください。



「削除ツリーアイコン選択画面例」

【機能】

■削除したいツリーアイコンを選択します。

【操作】

機能名称	動作概要	ショートカットキー
ツリー表示	削除したいツリーアイコンを選択します。	無し
戻るボタン	処理モード選択画面に戻ります。	Alt + B
次へボタン（既定のボタン）	次の画面に進みます。	無し
完了ボタン	削除ツリーアイコン選択画面では選択できません。	Alt + C
キャンセルボタン	UPS ドメインの削除を破棄しウィザードを閉じます。	無し
ヘルプボタン	ヘルプ画面を表示します。	Alt + H
キー入力（フォーカス）	各入力項目、ボタンへ順にフォーカス移動します。ツリー選択時は矢印キーを使って項目の移動をします。	Tab

【説明】

■選択したツリーアイコンの削除ができます。

4．UPS ドメインを削除するダイアログが表示されます。［削除］ボタンをクリックしてください。

「削除画面例」

【機能】

■UPS ステーションモニタへ UPS ドメイン削除情報を送信します。

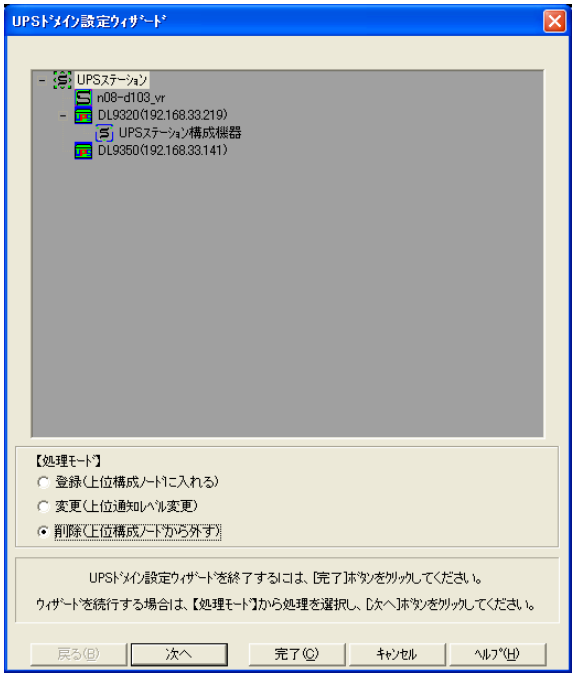
【操作】

機能名称	動作概要	ショートカットキー
戻るボタン	削除ツリーアイコン選択画面に戻ります。	Alt + B
削除ボタン（既定のボタン）	削除を UPS ステーションモニタへ送信し、処理モード選択画面（設定後）を表示します。	無し
完了ボタン	削除画面では選択できません。	Alt + C
キャンセルボタン	UPS ドメインの削除を破棄しウィザードを閉じます。	無し
ヘルプボタン	ヘルプ画面を表示します。	Alt + H
キー入力（フォーカス）	各入力項目、ボタンへ順にフォーカス移動します。	Tab

【説明】

■UPS ドメインごとに削除することができます。

５．処理モードを選択するダイアログが表示されます。ウィザードを終了する場合は、［完了］ボタンをクリックしてください。続けて行う場合は作業したい処理モードをチェックし、［次へ］ボタンをクリックしてください。



「処理モード選択画面（設定後）例」

【機能】

■UPS ドメイン設定の処理モード（登録/変更/削除）を選択します。

【操作】

■「UPS ドメインの登録」の「２.」を参照してください。

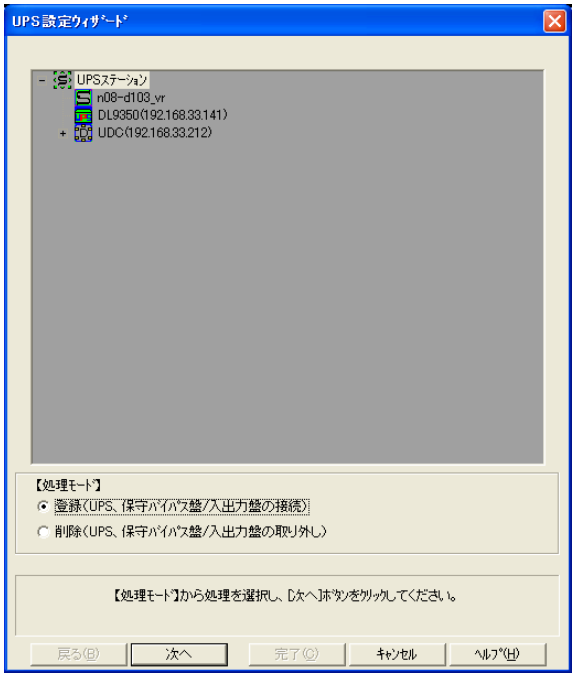
【説明】

■登録/変更/削除作業を続けて行うことができます。

■UPS（単機）、UPS（並列）及び保守バイパス盤／入出力盤の登録

1．UPS（単機）、UPS（並列）及び保守バイパス盤／入出力盤を登録する場合、UPS 設定ウィザードボタンをクリックしてください。

2．処理モードを選択するダイアログが表示されます。「登録（UPS、保守バイパス盤／入出力盤の接続）」をチェックし、［次へ］ボタンをクリックしてください。



「処理モード選択画面（設定前）例」

【機能】

■UPS（単機）、UPS（並列）及び保守バイパス盤／入出力盤の処理モード（登録/削除）を選択します。

【操作】

機能名称	動作概要	ショートカットキー
登録ラジオボタン	UPS ステーションに新たに UPS（単機）、UPS（並列）及び保守バイパス盤／入出力盤の登録を行う場合に選択します。	無し
削除ラジオボタン	現在 UPS ステーションに登録されている UPS（単機）、UPS（並列）及び保守バイパス盤／入出力盤の削除を行う場合に選択します。	無し
戻るボタン	処理モード選択画面では選択できません。	Alt + B
次へボタン(既定のボタン)	次の画面に進みます。	無し
完了ボタン	UPS（単機）、UPS（並列）及び保守バイパス盤／入出力盤の設定内容を保存してウィザードを閉じます。処理モード選択画面（設定前）では選択できません。	Alt + C
キャンセルボタン	UPS（単機）、UPS（並列）及び保守バイパス盤／入出力盤の設定内容を破棄しウィザードを閉じます。	無し
ヘルプボタン	ヘルプ画面を表示します。	Alt + H
キー入力（フォーカス）	各入力項目、ボタンへ順にフォーカス移動します。	Tab

表示名称	表示内容
ツリー表示	現在のステーション構成をツリー表示します。 ※アイコンの選択は行えません。
操作説明メッセージ	【処理モード選択画面】の操作説明を表示します。

【説明】

■UPS（単機）、UPS（並列）及び保守バイパス盤／入出力盤を合わせて１６台まで登録することができます。

３．登録種別を選択するダイアログが表示されます。UPS（単機）、UPS（並列）及び保守バイパス盤／入出力盤を選択し、[登録] ボタンをクリックしてください。UPS（並列）を選択した場合は「UPS（単機）、UPS（並列）及び保守バイパス盤／入出力盤の登録」の「**４.**」を参照してください。UPS（単機）及び保守バイパス盤／入出力盤を選択した場合は「UPS（単機）、UPS（並列）及び保守バイパス盤／入出力盤の登録」の「**５.**」を参照してください。

「登録種別選択画面例」

【機能】

■UPS（単機）、UPS（並列）及び保守バイパス盤／入出力盤の登録種別を選択します。

【操作】

機能名称	動作概要	ショートカットキー
登録種別選択ラジオボタン	UPS（単機）、UPS（並列）及び保守バイパス盤／入出力盤を選択します。	無し
戻るボタン	処理モード選択画面に戻ります。	Alt + B
次へボタン（既定のボタン）	次の画面に進みます。	無し
完了ボタン	登録種別選択画面では選択できません。	Alt + C
キャンセルボタン	UPS（単機）、UPS（並列）及び保守バイパス盤／入出力盤の設定内容を破棄しウィザードを閉じます。	無し
ヘルプボタン	ヘルプ画面を表示します。	Alt + H
キー入力（フォーカス）	各入力項目、ボタンへ順にフォーカス移動します。	Tab

表示名称	表示内容
ツリー表示	現在のステーション構成をツリー表示します。 ※アイコンの選択は行えません。
操作説明メッセージ	【処理モード選択画面】の操作説明を表示します。

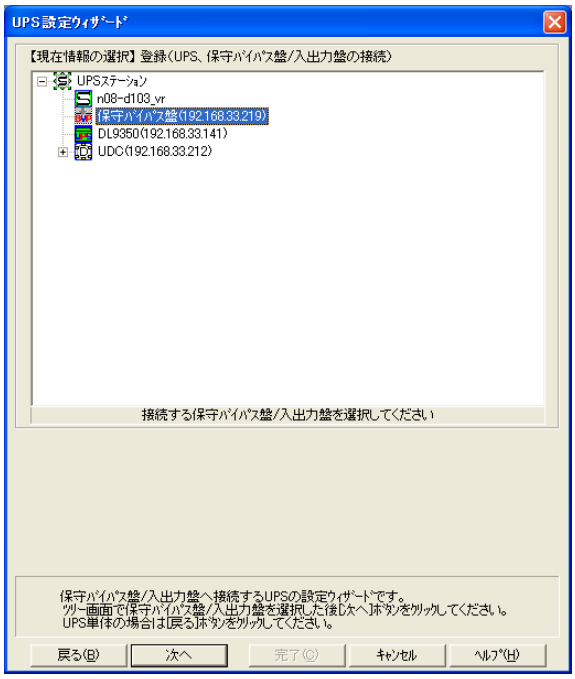
【説明】

■UPS（単機）、UPS（並列）及び保守バイパス盤／入出力盤の登録することができます。

■UPS（並列）は保守バイパス盤／入出力盤を登録してから登録を行います。

■UPS（並列）は UPS（単機）及び UPS（並列）には接続できません。

4．UPS（並列）が接続する保守バイパス盤／入出力盤を選択するダイアログが表示されます。UPS（並列）が接続する保守バイパス盤／入出力盤をツリー表示から選択し、［登録］ボタンをクリックしてください。



「保守バイパス盤／入出力盤選択画面例」

【機能】

■UPS（並列）が接続する保守バイパス盤／入出力盤を選択し、登録内容を仮登録します。

【操作】

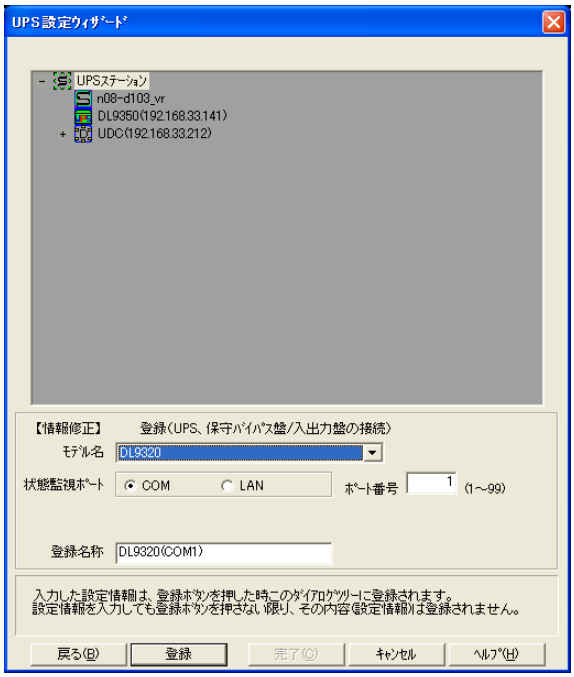
機能名称	動作概要	ショートカットキー
戻るボタン	登録種別選択画面に戻ります。	Alt + B
次へボタン(既定のボタン)	次の画面に進みます。	無し
完了ボタン	保守バイパス盤／入出力盤選択画面では選択できません。	Alt + C
キャンセルボタン	UPS（単機）、UPS（並列）及び保守バイパス盤／入出力盤の設定内容を破棄しウィザードを閉じます。	無し
ヘルプボタン	ヘルプ画面を表示します。	Alt + H
キー入力（フォーカス）	各入力項目、ボタンへ順にフォーカス移動します。	Tab

表示名称	表示内容
ツリー表示	現在のステーション構成をツリー表示します。 保守バイパス盤／入出力盤を選択します。
操作説明メッセージ	【処理モード選択画面】の操作説明を表示します。

【説明】

■UPS（並列）が接続する保守バイパス盤／入出力盤を選択することができます。

５．登録する UPS（単機）、UPS（並列）及び保守バイパス盤／入出力盤のモデル名と状態監視を行うコンピュータ側のポートを選択するダイアログが表示されます。モデル名と状態監視を行うポートを選択し、［登録］ボタンをクリックしてください。



「装置登録画面例(ＣＯＭポート使用)」

「装置登録画面例(ＬＡＮポート使用)」

【機能】

■UPS（単機）、UPS（並列）及び保守バイパス盤／入出力盤のモデル名と状態監視を行うコンピュータ側のポートを選択し、登録内容を仮登録します。

【操作】

機能名称	動作概要	ショートカットキー
モデル名	UPS（単機）、UPS（並列）及び保守バイパス盤／入出力盤のモデル名を一覧の中から選択します。	無し
ＣＯＭラジオボタン	登録する UPS（単機）、UPS（並列）及び保守バイパス盤／入出力盤をコンピュータのＣＯＭポートに接続して状態を監視することを選択します。ＣＯＭポートは１から９９の範囲で指定できます。	無し
ＬＡＮラジオボタン	登録する UPS（単機）、UPS（並列）及び保守バイパス盤／入出力盤をコンピュータのＬＡＮポートに接続して状態を監視することを選択します。ＬＡＮラジオボタンを選択したときは、コンピュータのＬＡＮアダプタのＩＰアドレスとポート番号を入力してください。	無し
ＩＰアドレス	ＬＡＮラジオボタンが選択されたときだけ表示され、コンピュータのＬＡＮアダプタのＩＰアドレスを入力します。	無し
ポート番号	ＣＯＭラジオボタンが選択されている場合には、ＣＯＭポートの番号を入力します。 ＬＡＮラジオボタンが選択されている場合には、コンピュータのＬＡＮアダプタが装置との通信で使用するポート番号を入力します。	無し
戻るボタン	処理モード選択画面に戻ります。	Alt + B
登録ボタン（既定のボタン）	登録内容を仮登録し、処理モード選択画面（設定後）を表示します。	無し
完了ボタン	UPS（単機）、UPS（並列）及び保守バイパス盤／入出力盤の設定内容を保存してウィザードを閉じます。	Alt + C
キャンセルボタン	中・大型 3 相 UPS 及び関連装置の設定内容を破棄しウィザードを閉じます。	無し
ヘルプボタン	ヘルプ画面を表示します。	Alt + H
キー入力（フォーカス）	各入力項目、ボタンへ順にフォーカス移動します。	Tab

【説明】

■登録する UPS（単機）、UPS（並列）及び保守バイパス盤／入出力盤のモデル名と状態監視ポートを登録することができます。

■UPS（並列）を仮登録した場合は、［登録］ボタンをクリック後、UPS の追加登録確認ダイアログが表示されます。再度 UPS（並列）を仮登録する場合は、「はい」ボタンをクリックしてください。UPS（並列）が新たに仮登録できます。UPS（並列）の仮登録を終了する場合は、「いいえ」ボタンをクリックして下さい。

6．処理モードを選択するダイアログが表示されます。仮登録した内容を保存してウィザードを終了する場合は、[完了]ボタンをクリックしてください。続けて行う場合は作業したい処理モードをチェックし、[次へ]ボタンをクリックしてください。

「処理モード選択画面（設定後）例」

【機能】

■登録する UPS（単機）、UPS（並列）及び保守バイパス盤／入出力盤設定の処理モード（登録/削除）を選択します。

【操作】

■「中・大型 3 相 UPS 及び関連装置の登録」の「２.」を参照してください。

【説明】

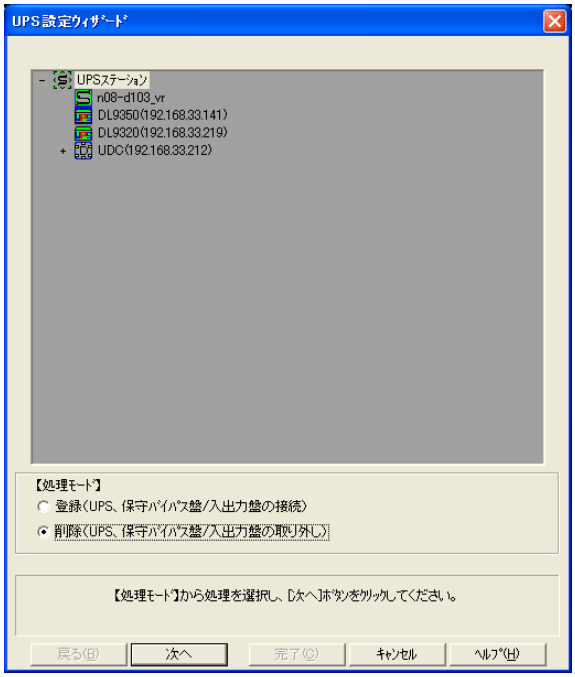
■ツリー表示にて登録した登録する UPS（単機）、UPS（並列）及び保守バイパス盤／入出力盤を確認することができます。

■登録/削除作業を続けて行うことができます。

■UPS（単機）、UPS（並列）及び保守バイパス盤／入出力盤の削除

１．UPS（単機）、UPS（並列）及び保守バイパス盤／入出力盤を削除する場合、UPS 設定ウィザードボタンをクリックしてください。

２．処理モードを選択するダイアログが表示されます。「削除（UPS、保守バイパス盤／入出力盤の取り外し）」をチェックし、［次へ］ボタンをクリックしてください。



「処理モード選択画面（設定前）例」

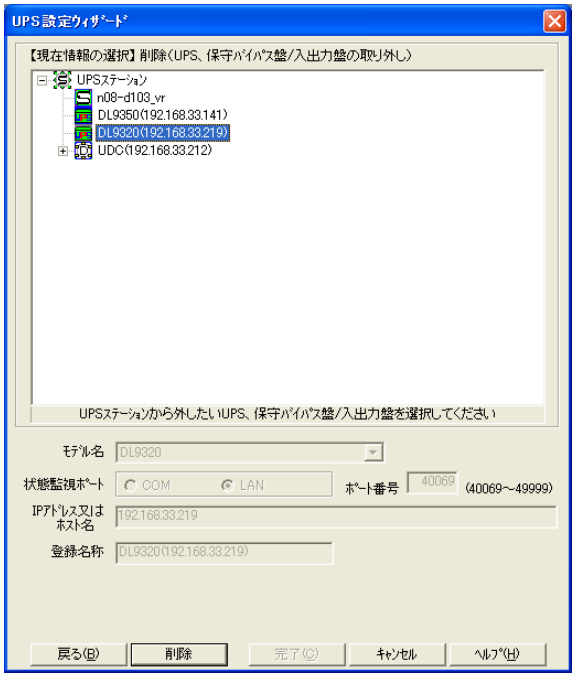
【機能】

■UPS（単機）、UPS（並列）及び保守バイパス盤／入出力盤設定の処理モード（登録/削除）を選択します。

【操作】

■「UPS（単機）、UPS（並列）及び保守バイパス盤／入出力盤の登録」の「２.」を参照してください。

3．削除したいツリーアイコンを選択するダイアログが表示されます。上部に表示されたツリー表示にて、削除したいツリーアイコンを選択し、[削除] ボタンをクリックしてください。



「削除ツリーアイコン選択画面例」

【機能】

■削除したいツリーアイコンを選択し、UPS（単機）、UPS（並列）及び保守バイパス盤／入出力盤を仮削除します。

【操作】

機能名称	動作概要	ショートカットキー
ツリー表示	削除したいツリーアイコンを選択します。	無し
戻るボタン	処理モード選択画面に戻ります。	Alt + B
削除ボタン（既定のボタン）	仮削除し、処理モード選択画面（設定後）を表示します。	無し
完了ボタン	削除ツリーアイコン選択画面では選択できません。	Alt + C
キャンセルボタン	UPS（単機）、UPS（並列）及び保守バイパス盤／入出力盤の設定内容を破棄しウィザードを閉じます。	無し
ヘルプボタン	ヘルプ画面を表示します。	Alt + H
キー入力（フォーカス）	各入力項目、ボタンへ順にフォーカス移動します。ツリー選択時は矢印キーを使って項目の移動をします。	Tab

【説明】

■選択したツリーアイコンの UPS（単機）、UPS（並列）及び保守バイパス盤／入出力盤が削除できます。

■保守バイパス盤／入出力盤を削除した場合は、削除した保守バイパス盤／入出力盤に接続されている UPS（並列）も同時に削除されます。

■削除できるアイコンは、以下のアイコンです。

・UPS（単機）アイコン
・UPS（並列）アイコン
・保守バイパス盤／入出力盤アイコン

4．処理モードを選択するダイアログが表示されます。削除した状態を保存してウィザードを終了する場合は、［完了］ボタンをクリックしてください。続けて行う場合は作業したい処理モードをチェックし、［次へ］ボタンをクリックしてください。

「処理モード選択画面（設定後）例」

【機能】

■UPS（単機）、UPS（並列）及び保守バイパス盤／入出力盤設定の処理モード（登録/削除）を選択します。

【操作】

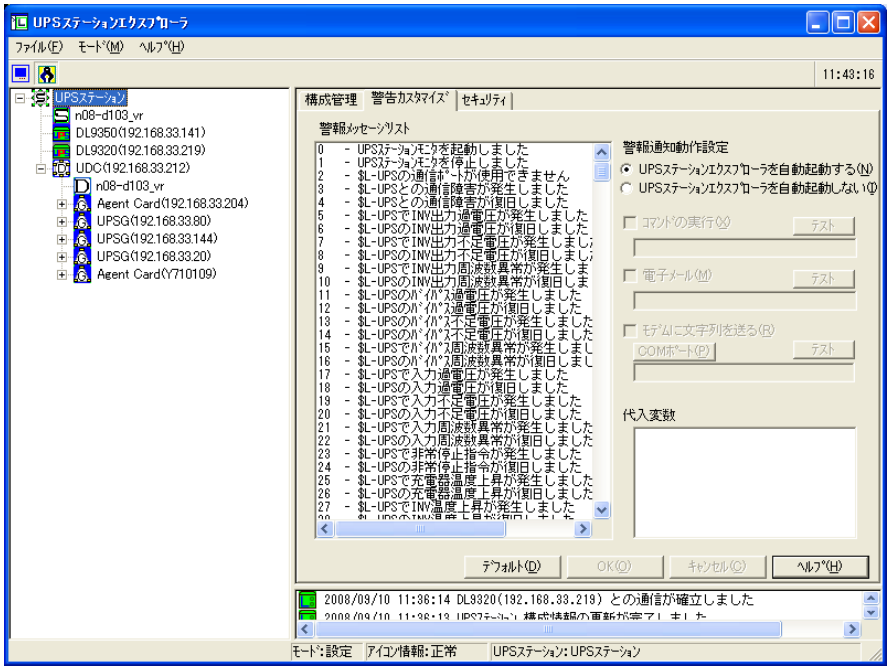
■「UPS（単機）、UPS（並列）及び保守バイパス盤／入出力盤の登録」の「２.」を参照してください。

【説明】

■登録/削除作業を続けて行うことができます。

警告カスタマイズ

UPS ステーションエクスプローラ画面が設定モードの状態で、「警告カスタマイズ」タブを選択すると表示されます。



［警告カスタマイズ画面例］

【機能】

■警報イベント発生時に「UPS ステーションエクスプローラを自動起動する／しない」の設定ができます。

■警報イベント発生時にコマンド（プログラムやバッチファイル）を実行できます。

■警報イベント発生時に電子メール送信ができます。

■警報イベント発生時にモデムへの文字列送信ができます。

【操作】

機能名称	動作概要	ショートカットキー
イベントメッセージリスト	カスタマイズするイベントメッセージを選択します。	無し
代入変数	カスタマイズに使用できる変数の一覧です。	無し
UPS ステーションエクスプローラを自動起動するラジオボタン	イベント発生時に、UPS ステーションエクスプローラを自動的に起動させて通知します。	Alt + N
UPS ステーションエクスプローラを自動起動しないラジオボタン	イベント発生時に、アイコン状態のままで通知します。	Alt + I
コマンド実行チェックボックス	コマンドを実行する場合は、このチェックボックスを選択します。選択すると、コマンド入力ボックスとテストボタンが使用可能になります。	Alt + X
・コマンドエディットボックス	実行するプログラムのパスとファイル名を指定します。	無し
・テストボタン（コマンド）	コマンドに入力したプログラムをテスト実行します。	無し
電子メールチェックボックス	電子メールを送信する場合は、このチェックボックスを選択します。選択すると、アドレス入力ボックスとテストボタンが使用可能になります。	Alt + M
・アドレスエディットボックス	メールサーバ、送信者および受信者のアドレスを指定します。	無し
・テストボタン（メール）	入力したアドレスに、電子メールをテスト送信します。	無し
モデムに文字列を送るチェックボックス	モデムに文字列を送る場合は、このチェックボックスを選択します。選択すると、ＣＯＭポートボタン、コマンド入力ボックス、テストボタンが使用可能になります。	Alt + R
・ＣＯＭポートボタン	通信ポート選択画面が表示されます。	Alt + P
・モデムエディットボックス	モデムに送信するコマンドを入力します。	無し
・テストボタン（モデム）	入力したコマンドをモデムにテスト送信します。	無し
デフォルトボタン	設定をデフォルトに戻します。	Alt + D
ＯＫボタン	設定を保存して画面を閉じます。	Alt + O
キャンセルボタン	設定を破棄して画面を閉じます。	Alt + C
ヘルプボタン	ヘルプ画面を表示します。	Alt + H
キー入力（フォーカス）	各入力項目、ボタンへフォーカス移動します。 リスト選択時は矢印キーを使って行の移動をします。	Tab

【説明】

■警告イベント発生時のコマンド実行

指定した警告イベントが発生した時に、指定したプログラムやバッチファイルを実行する事が可能です。

警告イベント発生時のコマンド実行を設定するには、

①イベントメッセージリストからメッセージを選択します。

②警告プロパティの「コマンドの実行」チェックボックスを選択します。

③コマンド入力ボックスとテストボタンが使用可能になるので、実行したいプログラムのパスとファイル名（必要であればパラメータも）を入力します。

コマンドの実行を確認する場合は、テストボタンを選択します。

④ＯＫボタンを選択し、設定を保存します。

■警告イベント発生時の電子メール送信

この電子メール送信は、SMTP(Simple Mail Transfer Protocol)を利用してメール送信を行います。

警告イベント発生時の電子メール送信を設定するには、

①イベントメッセージリストからメッセージを選択します。

②警告プロパティの「電子メール」チェックボックスを選択します。

アドレス入力ボックス、テストボタンが使用可能になります。

③アドレス入力ボックスに、メールサーバのホスト名または IP アドレス、送信者の電子メールアドレス、送信先(受信者)の電子メールアドレスを入力します。

入力項目の間は、必ず半角のスペースで区切ってください。

また、複数の送信先を指定する場合は、セミコロン(;)で区切ってください。

入力例:

192.168.33.123 powersol@ powersol.co.jp ups@ powersol.co.jp;domain@ powersol.co.jp
IP アドレス　送信者の電子メールアドレス　　送信先 1　　送信先 2

Powersol.co.jp powersol@ powersol.co.jp ups@ powersol.co.jp;domain@ powersol.co.jp
ホスト名　　送信者の電子メールアドレス　　送信先 1　　送信先 2

④ダイヤルアップによる接続は、Windows NT4.0(SP6.0)の場合、ダイヤルアップの設定がされていれば、ダイヤルアップによる送信を行います。

Windows 2000、Windows XP、Windows Vista、Windows Server 2003、Windows Server 2008 の場合、ダイヤルはしますが接続ができませんので、あらかじめ接続しておくことが必要です。

⑤ＯＫボタンを選択し、設定を保存します。

■警告イベント発生時のモデムへのコマンド送信

指定した警告イベントが発生した時に、モデムへコマンドを送信する事が可能です。

ヘイズ互換モデムであれば、ＡＴコマンドを記述します。

警告イベント発生時のモデムへのコマンド送信を設定するには、

①１つのメッセージを選択します。

②警告プロパティの「モデムに文字列を送る」チェックボックスを選択します。

通信ポートボタン、コマンド入力ボックス、テストボタンが使用可能になります。

③通信ポートボタンを選択し、モデムに繋がっているコンピュータの通信ポートを指定します。

④モデムへ送信する文字列を入力します。モデムへの送信を確認する場合は、テストボタンを選択します。

例）ATDT 0,0123456789RETWAIT$MESSAGE$RET$WAIT

文字列は、「代入変数」に表示されている変数が使用可能です。

⑤ＯＫボタンを選択し、設定を保存します。

■デフォルトの設定に戻す場合

全てデフォルトの設定に戻す場合は、「デフォルト」ボタンを選択した後に、ＯＫボタンを選択してください。

■警告カスタマイズが設定可能なアイコンは、以下のアイコンです。

・UPS ステーションアイコン
・UPS ステーションコントローラアイコン
・UPS（単機）アイコン
・UPS（並列）アイコン
・保守バイパス盤／入出力盤アイコン
・UPS ステーション構成機器アイコン

注意事項

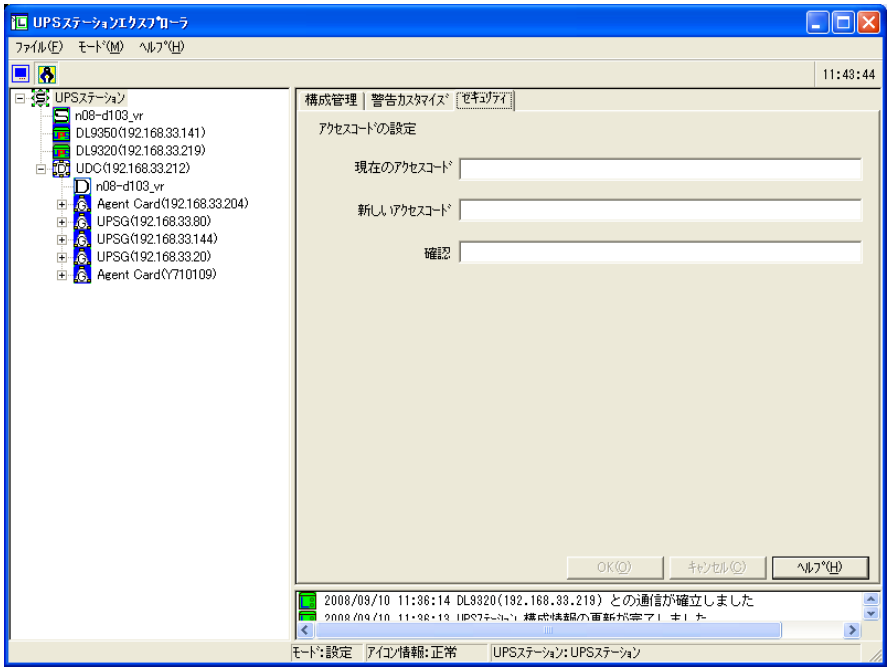
※警告イベントは中・大型３相ＵＰＳにより異なります。対応する警告イベントを選択するには『**UPS ステーション 付録編「付録 B イベントメッセージ一覧」**』の項を参照してください。

※電子メールを送信するには、ダイヤルアップやＬＡＮ等の接続の設定が、正しく行われている必要があります。接続の設定等はＯＳ、アプリケーションにより異なりますので、ご使用されるＯＳ、アプリケーションのマニュアルをご覧ください。

※モデム使用時には、最初に初期化コマンドを実行してください。初期化コマンドについてはご使用のモデムのマニュアルを参照してください。

セキュリティ

UPS ステーションエクスプローラ画面が設定モードの状態で、「セキュリティ」タブを選択すると表示されます。



［セキュリティ画面例］

【機能】

■アクセスコードの変更を行います。

【操作】

機能名称	動作概要	ショートカットキー
現在のアクセスコード エディットボックス	現在のアクセスコードを入力します。	無し
新しいアクセスコード エディットボックス	新しいアクセスコードを８文字以上５０文字以内で入力します。	無し
確認エディットボックス	入力したアクセスコードを確認の為入力します。	無し
ＯＫボタン	設定を保存します。	Alt + O
キャンセルボタン	設定を破棄します。	Alt + C
ヘルプボタン	ヘルプ画面を表示します。	Alt + H
キー入力（フォーカス）	各入力項目、ボタンへ順にフォーカス移動します。	Tab

【説明】

■アクセスコードを設定することにより、UPS ステーションエクスプローラの操作に制限（設定モードが使用不可）を設ける事が可能になります。

アクセスコードを知らないユーザは、表示モードしか利用できない為、不正な変更を防ぐ事ができます。

また、アクセスコードを個々に設定するよりも、部署単位やサーバ単位に組織立てた統一したアクセスコードで管理した方が、メンテナンスが容易になります。

■セキュリティが設定可能なアイコンは、以下のアイコンです。

・UPS ステーションアイコン
・UPS ステーションコントローラアイコン
・UPS（単機）アイコン
・UPS（並列）アイコン
・保守バイパス盤／入出力盤アイコン
・UPS ステーション構成機器アイコン

イベント発生時の確認ダイアログ

中・大型 3 相 UPS 及び関連装置や小型単相 UPS でイベントが発生した際に表示されます。

「イベント発生ダイアログ画面（中・大型 3 相 UPS 及び関連装置）例」

「イベント発生ダイアログ画面（小型単相 UPS）例」

【機能】

■UPS ステーション構成内の中・大型 3 相 UPS 及び関連装置と UPS ドメイン構成内の小型単相 UPS でイベントが発生した際に、アイコンと発生した警報種別のメッセージを表示します。

【操作】

機能名称	動作概要	ショートカットキー
確認ボタン	イベント発生ダイアログを閉じます。	無し

表示項目名称	表示内容
警報種別メッセージ	発生した警報種別により「警報」、「注意」が表示されます。

【説明】

■ダイアログ内のアイコンはイベントが発生した UPS の種別を表します。

中・大型 3 相 UPS 及び関連装置・・・

小型単相 UPS・・・・・・・・・・・・・

■ダイアログ内の背景色は警報種別を表します。

警報・・・赤色

注意・・・黄赤色

■中･大型 3 相 UPS 及び関連装置で発生したイベントと小型単相 UPS で発生したイベントは別々に表示されます。

■異なった警報種別のイベントが複数発生した場合は、レベルの高いイベントに切り替えて表示されます。

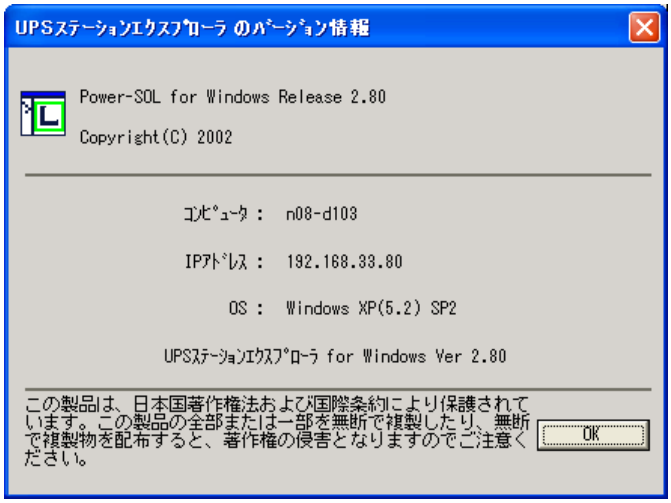
先に警報イベントが発生している状態で注意イベントが発生した場合・・・警報イベントが表示されます。

先に注意イベントが発生している状態で警報イベントが発生した場合・・・警報イベントに切り替えて表示されます。

※先に発生したときに表示されたダイアログを閉じた場合は、後から発生した警報種別のダイアログが表示されます。

バージョン情報

UPS ステーションエクスプローラ画面の「ヘルプ」メニューから、「UPS ステーションエクスプローラのバージョン情報」を選択すると表示されます。



［バージョン情報］

【機能】

■UPS ステーションエクスプローラのバージョン情報を表示します。

【表示】

表示名称	表示内容
Power-SOL for Windows Release X.XX	Power-SOL　のバージョンを表示します。
コンピュータ	ご使用のコンピュータ名を表示します。
ＩＰアドレス	ご使用のコンピュータのＩＰアドレスを表示します。
ＯＳ名	ご使用のＯＳ名及びそのバージョンを表示します。
UPS ステーションエクスプローラ for Windows Ver X.XX	ご使用の UPS ステーションエクスプローラのバージョンを表示します。

【説明】

■使用中の UPS ステーションエクスプローラのバージョン情報及びコンピュータ情報を表示します。